

地域みらいキャリア 2024

統合報告書



「地域みらいキャリア」とは

高校生が多様なキャリアや進路のロールモデルに出会う3つのプログラム。

“これから社会はどう変わっていくんだろう？”

自分らしく働いて 生きていくには、どうすればいい？”

これからの学び方・働き方を、

とことん話せる仲間ができる、
相談できるいろんな大人と出逢える、

オンライン探究プログラムです



「地域みらいキャリア」とは

3つのコースのイメージ

※写真はすべてイメージになります。

高校
1年生

みらい探究コース

“キャリア”的考え方、今の社会における“はたらく”をひも解きながら、ロールモデルにインタビューを行い、自己理解を深めます。未来の自分の生き方／働き方を探求するコースです。



高校
2年生

まなび探究コース

“まなぶ”ってなに？を起点に、今ある最先端の“まなび”を知り、高校卒業後の選択肢を増やします。自分の視野や進路の可能性を広げるコースです。



高校
3年生

総合型選抜ゼミ

高校3年間の活動を振り返って整理し、自分だけの探究テーマと活動の社会的意義を言葉にして磨いていきます。難関大学の総合型選抜入試に挑戦したい人向けのコースです。



実施報告 -みらい探究コース-



1. 実施概要「みらい探究コース」の目的とゴール

概要

「はたらく」「キャリア」について、**とことん探究する半年間のプログラム。**

「はたらく」「キャリア」について、考え、議論、探究し、**答えのない問い合わせについて考えていく探究学習。**

多様な地域から集まる高校生メンバー、大人達(キャリアメンター、コーディネーター)、ゲストと出会い、たくさん対話をし、自分の考えを深めていく。**半年間の考え方を「最終発表会」で自分の言葉にし、発信をする。**

ゴール

参加者が

- ◆自分の未来にワクワクしている
- ◆"自分らしさ"を考え始めている
- ◆多様な働き方や仕事に関心が生まれている
- ◆働くことがポジティブになっている
- ◆地域で働く自分にワクワクしている
- ◆未来の姿を実現するためのネクストアクションを言語化できている

対象/ 定員

高校1年生 / 30名

授業日/期間

隔週火曜日 19:00~20:15



キャリアの言葉のイメージについて

「仕事」を主に触れていますが、生き方やあり方も含めたひとまわり大きな言葉の定義で進めたいと思います。

1. 実施概要「みらい探究コース」の魅力

〃ここがポイント〃



キャリアや「はたらく」の最新情報を学べる



「自分について」「やりたいこと」を
いろいろな地域の高校生と対話できる



様々な大人やゲストから「はたらく方」「生き方」の話を
聞ける



キャリアのプロのメンターからアドバイスがもら
える

1. 実施概要「みらい探究コース」体制

こんな人たちがみなさんをサポート！



地域・教育魅力化
プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

「自分たちの未来は変えられると信じ、自ら挑戦できる意志ある若者に溢れる地域・日本づくり」をビジョンに都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学する「地域みらい留学事業」や、県単位での人づくり・人の流れづくりのモデルを創る「しまね事業」を推進する団体

コーディネーター



授業に取り組む上で、課題や探究学習の方法などをサポートします！

キャリアメンター



総合人材サービスのパーソルホールディングス株式会社から「はたらく」や「キャリア」に詳しいメンターが参加者の学びをサポートします！



【1学期：6-8月実施（予定）】

前半：キャリアとは？

授業

- ・キャリアとは？
- ・"はたらく"の未来
- ・多様な働き方



コーチング

- ・キャリアとは？
- ・"はたらく"の未来
- ・多様な働き方

中盤：ロールモデルと出会う

仕事図鑑（8-10月頃）

授業

- ・「仕事図鑑」とは？
- ・地域キャリア事例①
- ・地域キャリア事例②



コーチング

- ・地域キャリア事例①
- ・地域キャリア事例②

【2学期：9-12月実施（予定）】

後半："みらい"を描く

授業

- ・図鑑の作り方①
- ・図鑑の作り方②
- ・図鑑の作り方③



コーチング

- ・図鑑作りサポート
- ・図鑑作り実践／インタビュー
*取材や編集の状況に応じてサポート



コーチング

- ・自分自身を知る
- ・自分の"みらい"
- ・"みらい"と学び

12月・最終発表会
1月 PERSOL活動共有会

2. プログラム内容

授業内容とスケジュール

NO	実施日	テーマ	授業内容イメージ
1	6/4	「キャリア」とは？	これからこのプログラムで何に取り組んでいくか そもそも「キャリア」とは何かを改めて思考する
2	6/18	「キャリア」をデザインする	「キャリア」をデザインするとはどういうことか デザインする上で大切にしたい観点を考える
3	7/2	「はたらく」のいま、未来	「はたらく」の変化、昨今の動きを知り、 未来はどうなっていくかを考える（働き方）
4-8	7/16・7/30 8/20・9/3 9/17	【仕事図鑑】 ロールモデルに出会う／図鑑制作	地域のロールモデルに出会う（PERSOL社員など） 自身で選んだロールモデルに取材をして図鑑を制作 (言語化／アウトプットを通じてキャリアを考える)
9	10/1	「みらい」を描く①	事例との出会いを振り返り、改めて「自分自身」を知る 「みらい」を考え描き始める（後半スタート）
10	10/15	「みらい」を描く②	「みらい」を描く視点・観点を知る 発表会に向けてアウトプットイメージをインプット
11 12	10/29 11/2	発表会準備	発表会に向けた資料準備や発表会に関する案内など
発表	12/3	合同発表交流会@オンライン	「学び・進路」プログラムと合同の発表会 ゲストや仲間からフィードバックを受け、さらに探究を深める
13	12/10	リフレクション	発表会のリフレクション 全員参加のコンテンツはここで最終回

授業(第1・3火曜)

レクチャー
(19:00~19:30)
インプット

ゲストをお迎えして、テーマについてお話を伺います。



ディスカッション
(19:30~20:00)
より深める・アウトプット

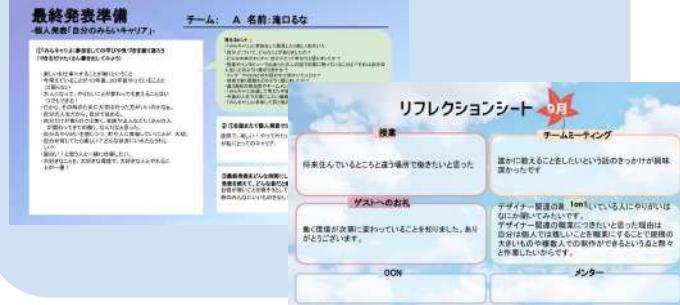
レクチャーを振り返りながら、少人数で対話をし、よりテーマに関する問い合わせを深めています。

コーチング(第2・4火曜)

コーチング
(19:00~20:00)
生徒とのコミュニケーションの場

授業の続きの対話
宿題や授業の相談
※任意参加

各自の探求・宿題



12月最終発表会——オンライン

1月
パソコン×CPF共創共有会
対面・選考あり

授業実施内容①

6/4
第1回

キャリアを考えるとは？

KEY WORD

- ・キャリア≠仕事・はたらく
- ・「はたらくことも含めた生き方そのもの」

6/18
第2回

はたらくの今、はたらくの未来①

KEY WORD

- ・キャリアデザインとは自分らしく、生きること
- ・キャリアデザインの多様化
 - リモートワーク・副業
 - テクノロジーの変化
 - 労働力減少
- ・社会はずっと変わり続けるので、変化の中で、何をするか、何をしたいかを柔軟に、そして自分らしく考えていくことが大切

7/2
第3回

はたらくの今、はたらくの未来②

KEY WORD

- ・自分らしく、はたらくためには、3つの輪が大事(Will Can Must)
- ・Willを考えるために経験と内省が大切
- ・分からなくなったら目の前のことを一生懸命やるで大丈夫！

ミライハイスクール
地域教育実践化アカデミー

ワークショップ：キャリアとは何を考えることだろう？

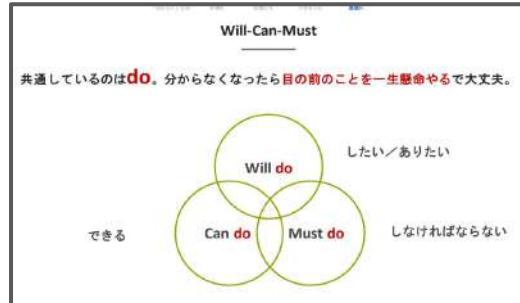
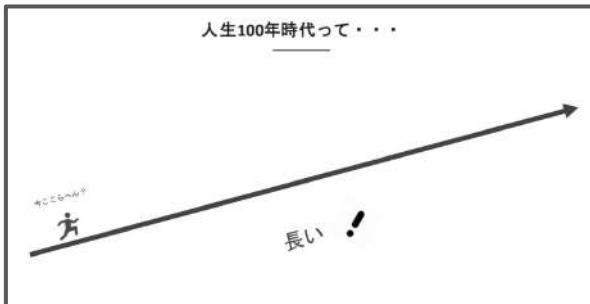
キャリア≠仕事・はたらく
「はたらくことも含めた生き方そのもの」

参考：パーソルホールディングス株式会社HP

- ・幸せなキャリアは？
- ・自分らしい生き方とは？
- ・自分で選択するために必要な力は？

■キャリアという言葉の語源は、ラテン語で「荷馬車や四輪の轡の通り道、轍(わだち)」を意味します。それが次第に転じて、人のたどる行路やその足跡・経路・歴史を意味するようになつたと言われています。

このプログラムを通して
どんな問い合わせていきたいですか？



授業実施内容②

7/16
第4回

【仕事図鑑①】インタビューを体験してみる

7/30
第5回

【仕事図鑑①】インタビュー練習をする

8/20
第6回

【仕事図鑑③】執筆ワークショップ

9/3
第7回

【仕事図鑑④】記事ブラッシュアップ

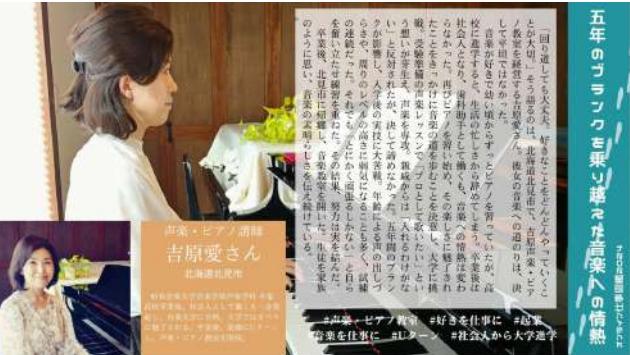
9/17
第8回

【仕事図鑑⑤】仕事図鑑の振り返り

KEY WORD

- ・人の話を聞くことで、自分の生き方について考える
- ・「新しい出会い」を楽しもう！

↙完成した仕事図鑑はこちらからご覧ください↙



前編



後編



授業実施内容③

10/1
第9回

みらいを描く① 前半の振り返り

10/15
第10回

みらいを描く② 高校生活で行動したいことは？

KEY WORD

- ・自分のキャリアを言葉に。綺麗なまとまった言葉でなくてもOK
- ・いろんな越境をしてみよう。
- ・はたらくのイメージを膨らませてみよう。

10/29
第11回

最終発表会準備① 相手に伝わる発表づくり

KEY WORD

- ・相手に伝わるのはその人の生々しい体験から出てくる言葉
- ・等身大の言葉(素直な声)で伝える

11/12
第12回

最終発表会準備② リハーサル

12/3
最終発表会

発表テーマ：自分のみらいキャリア



■概要

- 日時: 12/3(火) 19:00-21:00
- 場所: Zoom
- 内容
 - 前半: 最終発表会(地域みらいキャリア・3学年合同)
 - 後半: みらいトークセッション
ゲスト: 井手上 漠さん(タレント・島根県立隱岐島前高等学校出身)

■発表内容

- テーマ: 「自分のみらいキャリア」
- 発表形式
 - 発表時間: 3分
 - スライド: 1枚
 - 必ず話してほしいこと
 - 自己のみらいキャリアを **キャッチコピー** にする
 - これからの **高校生活でのアクション**

自分のみらいキャリア

キャリアについて学び、様々な大人と出会って
どんな気づきや学びがありましたか？
わくわくしたことや自分もやってみたいことはありましたか？
このプログラムが終わる2024年12月の後、
どんな未来を歩みたい、何を学びたい、どんな経験をしたいと感じていますか？
高校生活で行動したいこと、挑戦したいことはありますか？
どんな大人になりたいと感じていますか？
「みらいキャリア」を通して感じた「あなた」の未来を3分間で伝えよう！

▼発表形式

- ・発表時間: 3分
- ・スライド: 1枚
- ・必ず話してほしいこと
 - ①自己のみらいキャリアを **キャッチコピー** にする
 - ②これからの **高校生活でのアクション**



2. プログラム内容 最終発表会・実施報告

- 日時: 12月3日(火) 19:00~21:00

- 参加者(全体)

- 一部: 75人
***運営スタッフも含む**
- 二部: 95名



- 参加者の声

(参観者)本校の生徒の発表だけでなく、他校の生徒さんの発表も聞かせていただきましたが、どの生徒さんも本当に視座が高いといいますか、(そう皆さんの手ほどきで成長したのだと思いますが) そうした生徒同士が距離の制約を越えて交流するという点において、今年は学年を跨いだ交流になっていた点が非常に印象的でしたし、よかったです。様々な大人・ロールモデルとの交流はとても重要だと思っていますが、やはり同年代の交流も非常に効果が高いと思います。 その中でも、今回のように少し年上・少し年下というのは、また重要な視点だなと思いました。

(メンター)最初は何か大人らしい何かすごいことを言わなければいけないのかもしれないというプレッシャーを感じていましたが、大人が何を言わなくとも大人が思っている以上に生徒たちは多くのことを感じ、吸収していたんだな、ということが最終発表会での気づきでした。また、生徒の中にはこの短期間でも変化や成長実感を持った生徒もいて、その変化や成長の機会に携われたことが何よりもうれしかったです。最終発表会では泣きそうでした。

目的

- ・パーソル×CPFの2024年度共創活動を締めくくる場として、以下を目的とする。
 - ①2024年度活動内容共有（共創事業を通じて活動した高校生やパーソル社員の活動共有）
 - ②共創活動を通じて実現したいことを共有し、来期活動への期待・熱量を高める場とする。

実施概要

- ・実施日：2025年1月11日（土）14:00-17:30（18:00完全撤収）
- ・会場：パーソル本社（南青山）
- ・参加者：
 - ・パーソル（和田社長ほか共創メンバー）、CPF（水谷さん、悠さん、MHS関係者ほか）、学校関係者
 - ・発表生徒（10名前後）、パーソルメンター（6名）、パーソル社員（参加希望者） 合計30-40名
- ・内容：
 - ①オープニング（CPF代表理事：岩本悠）【5分】
 - ②2024年度共創活動報告（CPF代表理事：岩本悠）【10分】
 - ③高校生活動事例紹介（24年度みらキャリ代表生徒+昨年度生徒）：5分×10名前後【50分】
 - ④パーソル社員発表（みらキャリメンター）【20分】
 - 休憩-【10分】
 - ⑤グループダイアログ -10年後に実現したい「はたらいで笑う」私-【60分】
- *混合グループ（3-4名:各グループ高校生1名ずつ）
- ⑥クロージング（パーソルホールディングス株式会社 代表取締役社長：和田 孝雄）【5分】

■内容

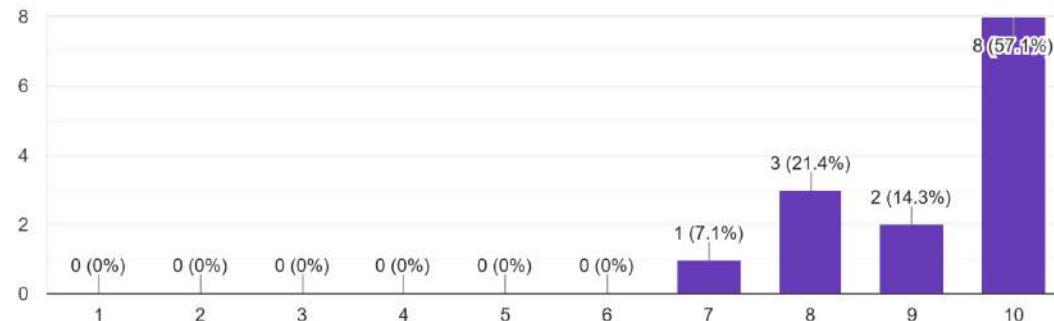
- ・キャリアに関する質問:15問(プログラム前にも実施)
- ・プログラムに関する質問:31問
- ・回答数:14名(プログラムに最後まで参加した人全員)
- ・アンケート内容

<https://forms.gle/L5gsXk26zifSNd6P9>

■【プログラム全体】に関する振り返り

プログラム全体の満足を教えて下さい（学びの量...ターのアドバイス・運営に関わる人たち、など）

14 件の回答



平均満足度:9.2

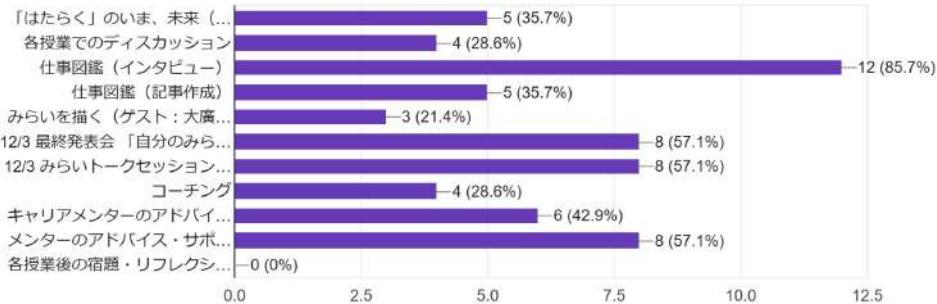
理由(一部抜粋)

- ・何もかもが自分の住んでいるところでは体験できない内容でとても刺激的でした！
- このプログラムはインプット→アウトプットのサイクルが多くて自分の考えを素早くまとめる力がつきました。
- ・ミラキャリで学ぶことが多くて学んだことが生かされていると実感するし、最初に比べて成長したなと思ったからです。ミラキャリがあったからこそ行動力がついたり「キャリア」について考えることができました！
- ・親身になって相談に乗ってくれたり、アドバイスをしてもらったり色々助かった。アドバイザーの方々がいなければこんな素敵な仕事図鑑は作れなかった

■【プログラム全体】に関する振り返り

「地域みらいキャリアプログラム」の中でよかったです...ンツを教えて下さい？（5つ回答してください）

14件の回答



1 仕事図鑑: 12ポイント

2 12/3 最終発表会・12/3 みらいトークセッション・メンターのアドバイス/サポート: 8ポイント

理由(一部抜粋)

(仕事図鑑) インタビューの中で自分のこれからの生き方にしつくり合う言葉と出会えた

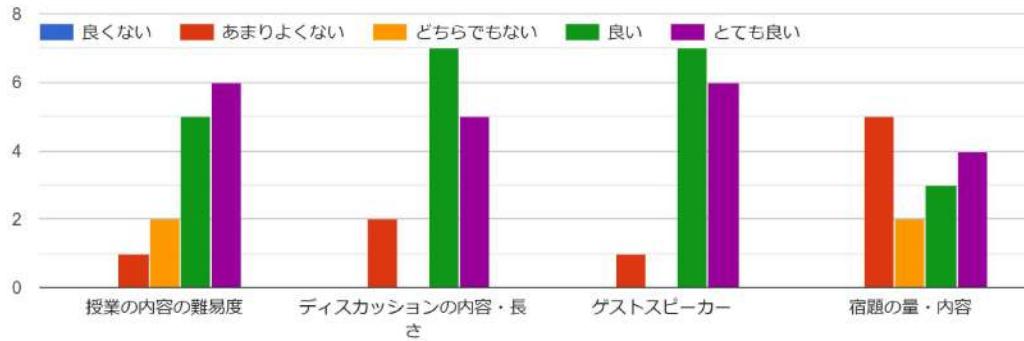
自分でアポを取って、自分でインタビューするといった、まだ私が経験したこと無いことができた。

(メンターのアドバイス/サポート) メンターさんのお言葉でスライド作成や記事作成が進んだ。

(各授業でのディスカッション) 各授業、コーチングで同じグループの子やメンターの方と話すことで学びがたくさんあった。

■【授業】に関する振り返り

それぞれの項目についての感想を教えて下さい。



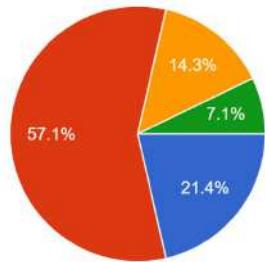
コメント(一部抜粋)

- ・他者の意見って前までは人は人って感じだけけど授業を通して「人ってどう思っているんだろう」とか人の意見を踏まえて自分の意見を伝える場所ってそんなになかったからとても成長できたところです。
- ・キャリアを超えた「生き方」を考えることができました。
- ・宿題は出されたけど、どう手をつけたらいいのかとかコーチングに参加しなくてもわかりやすく説明してほしいです。
→宿題は量・質と共に改善の余地あり

■【コーチング】に関する振り返り

隔週で行われていたコーチングにどの程度参加していましたか？

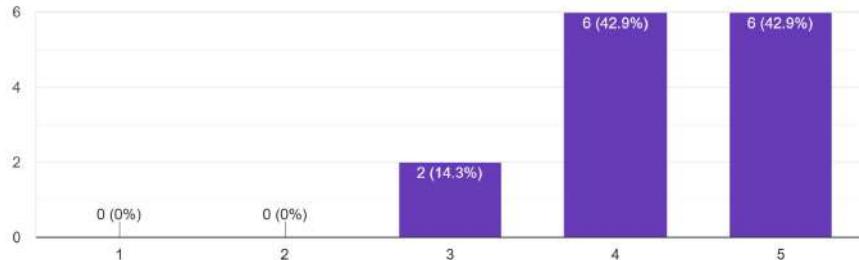
14件の回答



- ほとんど全て参加した
- 数回参加した
- 1回だけ参加した
- 1度も参加しなかった

コーチングの時間の満足度をおしえてください

14件の回答



平均満足度:4.2

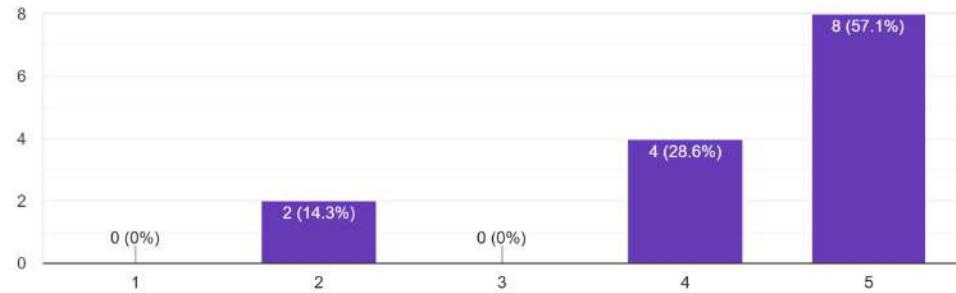
コメント(一部抜粋)

- ・授業を補えるゆとりがあるのはほんとにうれしいです。
- ・授業では関わられなかつた人と交流することができた。
- ・仕事図鑑を進める上で今後も役にたつようなお話を沢山聞けた。

■【仕事図鑑】に関する振り返り

仕事図鑑の時間の満足度をおしえてください

14件の回答



平均満足度:4.2

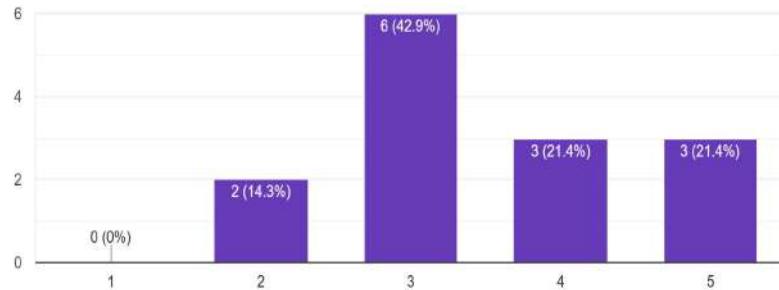
コメント(一部抜粋)

- 今まで自分の軸ってなんだろうと思っていたけど、インタビューを通して、軸は気づかないうちにできていると聞いて、少しづつ自分の軸を探して行こうと思った。
- 完成した時の達成感が大きかった。
- 文章を書くことが苦手なんですけど、大人やチームの子に相談しながら進めるのは楽しかったです。
- 私が他の予定と被っている時期だったのであります、時間が足りなかつたです。
- 満足度が低い人は、時間の担保、学業との両立、作業量、作業ツール（Canva）に関しての負担についてコメントがあったため、量の調整や許諾書のやりとりはコーディネーター・事務局から行うなど生徒が実施する部分の精査が必要。

■【最終発表会】に関する振り返り

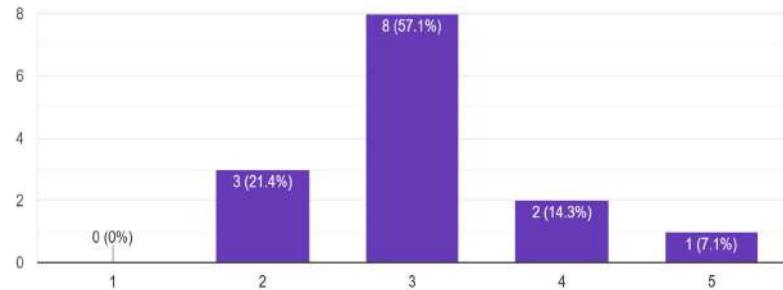
最終発表テーマの難易度はどうでしたか？

14件の回答



最終発表準備期間は十分ありましたか？

14件の回答

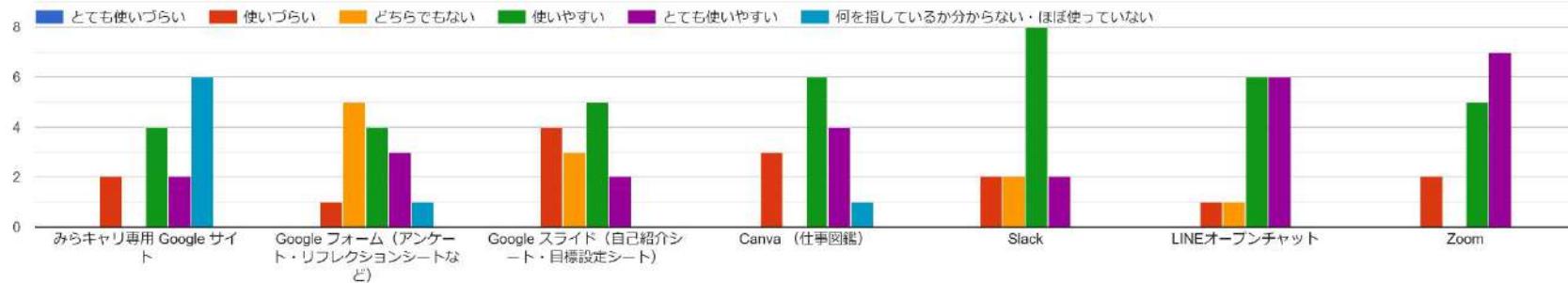


コメント(一部抜粋)

- 今まで一緒に取り組んできた仲間や、先輩、家族や先生に意見をもらえたのはとても大きかったです。
- 最終発表会では堂々と自分の意見が伝えることができて自信、そして次への一歩の活力になりました。
- 個人的に普段お世話になっている方からのメッセージが嬉しかったです。そして初めての方にも自分の考えを伝えることができて自信になりました。自分を応援してくれる人がたくさんいて明日からも頑張ろうと思えました。
- 自分の思いを言語化することの難しさを知りました。だけど、自分の言語化が拙くてもがんばって伝えようとすれば、意外と相手もわかつてくれる感じました。これからも「伝えること」を大切にして行きたいです。

■プログラムで利用していた【ツール】に関する振り返り

それぞれの項目についての感想を教えて下さい。



・Googleサイトの認知・利用率は低く、情報を集約した掲示板の役割は他のツールを使うのが

※例えばコーディネーターの福村さんが途中にこのようなものを作ってくれましたが、これくらいシンプルなものの方が使いやすい生徒にとっては使いやすそう。

<https://sites.google.com/view/miraicarrier-portal?usp=sharing>

・リフレクションや宿題のツールは Googleスライドよりフォームに切り替えた方が提出率が高く、記録として残す勝手としてはスライドの方が良いが、提出・実施を優先してフォームで実施していくのがよさそう。

・コミュニケーションツールは SlackよりもLINEオープンチャットの方が生徒にとって使いやすいという結果。学年ごとにコミュニケーションツールを使い分けるなどの検討をしてよい。

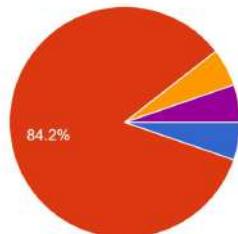
■質問内容一覧

1. あなたは今、「はたらく」ということについてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。
2. あなたは今、自分自身の「キャリア」についてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。
3. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に関心がありますか？
4. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に取り組んでいますか？
5. あなたは将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話しあっていますか？
6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？
7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください
8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？
9. 「はたらくことや「キャリア」に関して、あなたがいま知りたい、深めたい「問い合わせ」はありますか。思いつくことをなんでも教えてください。
10. 「主体的な」キャリア形成とは、どのような姿だと思いますか？あなたが思いつくことをなんでも教えてください。
11. 「あなたらしい」はたらき方とはどのようなはたらき方だと思いますか？あなたが思いつくことをなんでも教えてください。
12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに関心はありますか？
13. あなたには今、「はたらく」を考える上で、【保護者以外で】ロールモデルとなる人(お手本となる人、その人から多くを吸収したいと思う人)はいますか？また、【あなたがいま暮らしている地域】に限定すると、そのような人はいますか？

1. あなたは今、「はたらく」ということについてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。

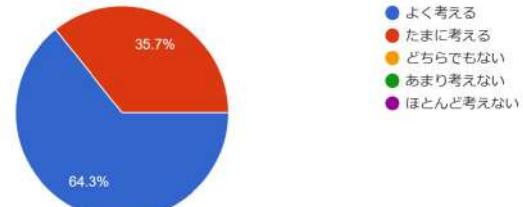
■事前

1. あなたは普段、「はたらく」ということについて...の選択肢から一番近いものを選んでください。
19件の回答



■事後

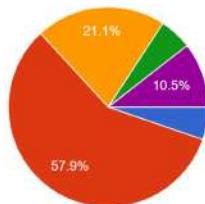
1. あなたは今、「はたらく」ということについて...の選択肢から一番近いものを選んでください。
14件の回答



2. あなたは今、自分自身の「キャリア」についてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。

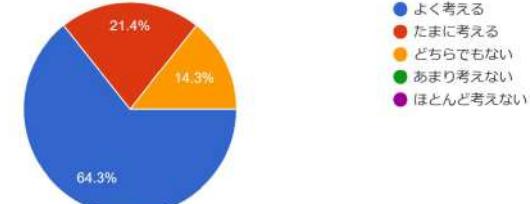
■事前

2. あなたは普段、自分自身の「キャリア」について...の選択肢から一番近いものを選んでください。
19件の回答



■事後

2. あなたは今、自分自身の「キャリア」について...の選択肢から一番近いものを選んでください。
14件の回答

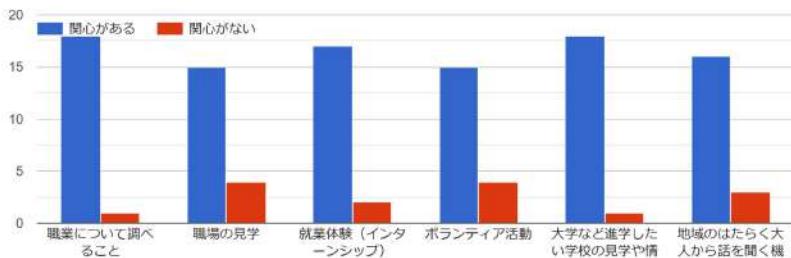


3. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に关心がありますか？

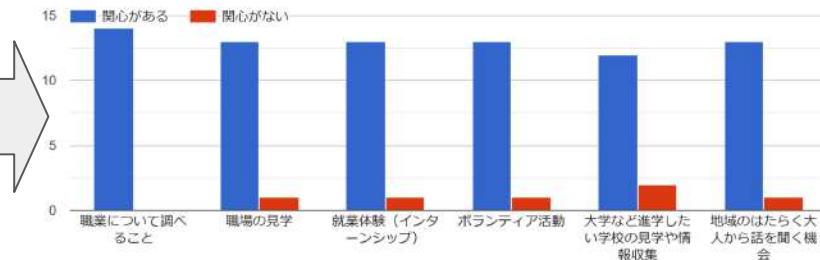
■事前

■事後

3. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に心配がありますか？



3. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に心配がありますか？

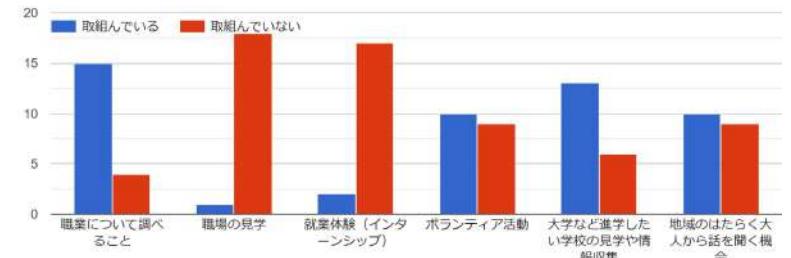


4. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に取り組んでいますか？

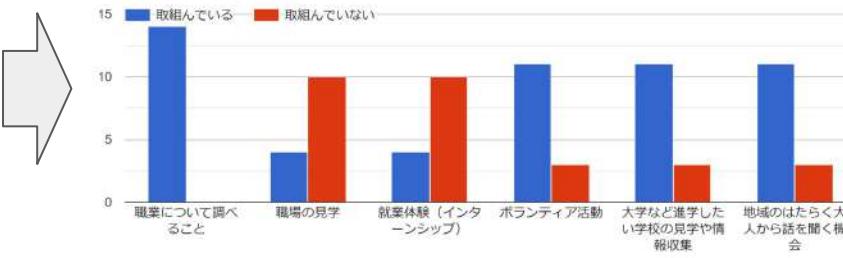
■事前

■事後

4. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に取り組んでいますか？



4. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に取り組んでいますか？

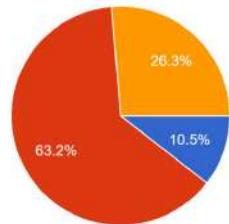


5. あなたは将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話しあっていますか？

■事前

5. あなたは将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話しあっていますか？

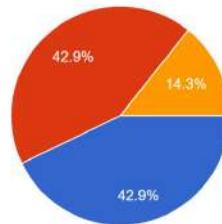
19件の回答



■事後

5. あなたは将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話しあっていますか？

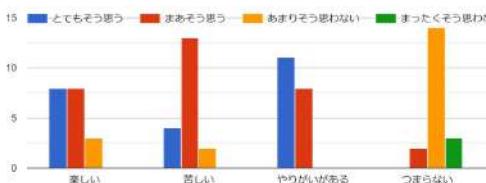
14件の回答



6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？

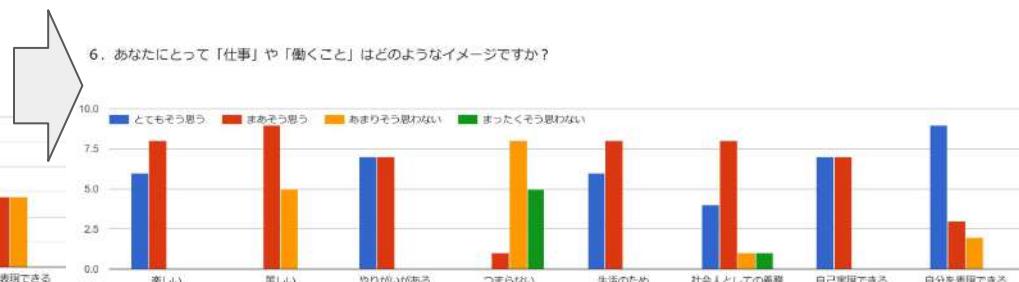
■事前

6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？



■事後

6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？

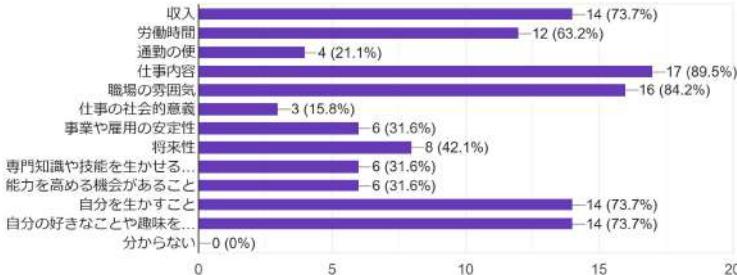


7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください

■事前

7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください

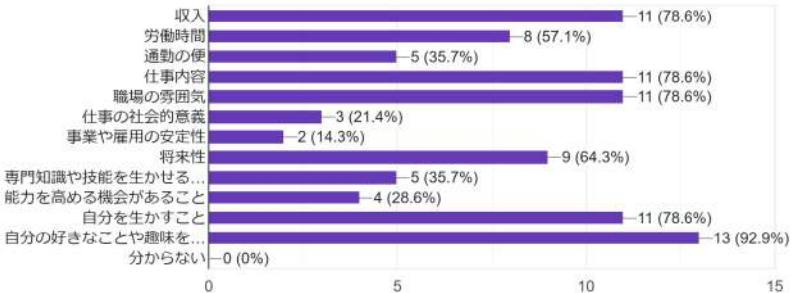
19件の回答



■事後

7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください

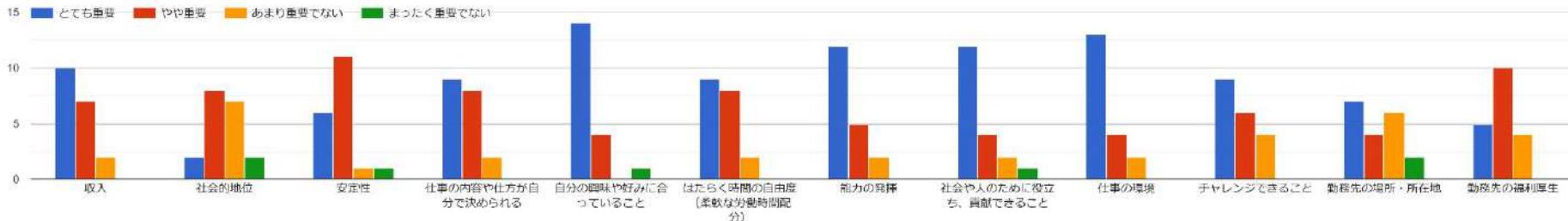
14件の回答



8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？

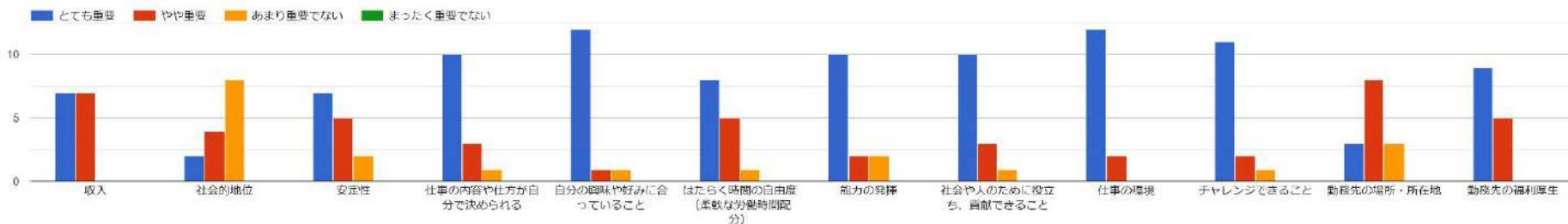
■事前

8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？



■事後

8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？

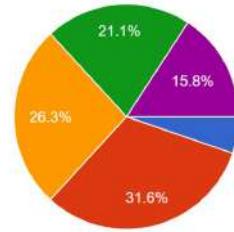


12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに関心はありますか？

■事前

12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに関心はありますか？

19件の回答

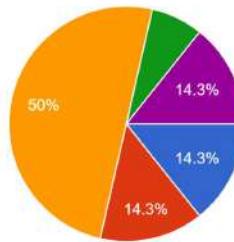


- とてもある
- ややある
- どちらともいえない・わからない
- あまりない
- まったくない



12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに関心はありますか？

14件の回答



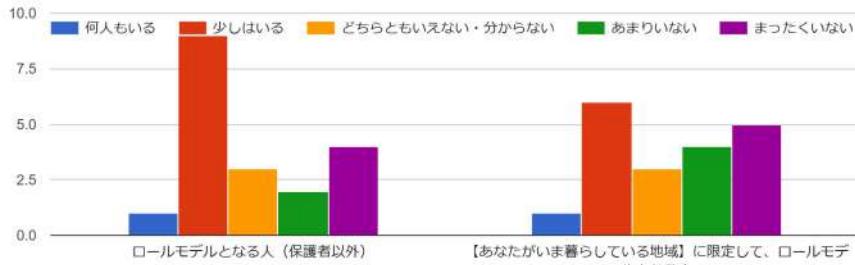
- とてもある
- ややある
- どちらともいえない・わからない
- あまりない
- まったくない

13. あなたには今、「はたらく」を考える上で、【保護者以外】ロールモデルとなる人（お手本となる人、その人から多くを吸収したいと思う人）はいますか？また、【あなたがいま暮らしている地域】に限定すると、そのような人はいますか？

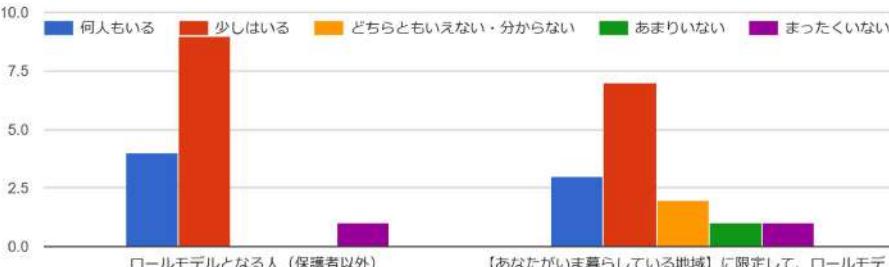
■事前

■事後

13. あなたには、「はたらく」を考える上で、【...地域】に限定すると、そのような人はいますか？



13. あなたには今、「はたらく」を考える上で、【...地域】に限定すると、そのような人はいますか？



- 「はたらく」「キャリア」ということについてどのくらい考えることがあるか、という問いで「たまに考える」から「よく考える」に変化した数値が大きかった。本プログラム参加生徒は、プログラム前からキャリアに関する関心が高いが、さらに考える機会が増える機会となった。
- 生き方や進路（進学や就職）に関わる問いで、プログラム前では興味があるが進路に関する具体的な活動をしていない回答が多くったが、プログラム後では本プログラムも含め進路に関する具体的な活動をしている回答が増えていた。
特に「大学見学」「地域の大人と話す」の項目が伸びており、本プログラムや並行して「みらたび」に参加した生徒もあり、本プログラムをきっかけに進路に対する行動の幅が増えてたと考えられる。
- 働くことのイメージに対する問いで「楽しい」「自己実現できる」「自己表現ができる」といったポジティブな面の変化が大きかった。
「未来にわくわくする」という「みらキャリ」のゴールが達成できたと言える。前の問の結果で、仕事やキャリアについて考える機会がプログラム前後では増えた結果となったので、様々な人と出会い話を聞いたことで「働くこと」に対する解像度が上がったうえで、ポジティブなイメージがついていると言える。
- 「主体的な」キャリア形成とは、どのような姿だと思いますか」という記述の問いで、プログラム前後での言語解像度の大きな変化は見られない。本プログラムを通して考えるきっかけや、最終発表会に向けて自分の答えを産み出す経験はできたといえるが、1年生時の半年のプログラムでは足りない部分もあるため、学年に応じて継続した場が必要であると考えられる。

- 「みらいキャリア」は、**自分自身の成長と人との関わり方も学べたり**、将来の私が興味ある職とかそういうのにもわかりやすく説明してくれたからすごく良かったです。仕事図鑑はすごく将来の為にもなるなって思いました。
- みらキャリを通して、いろんな大人のお話を聴いたり、他の高校生と交流をしたりしてして、アドバイスをもらい**「自分が何をしたいのか。それはなぜなのか」という考えを深めることができました。**
- いろんな大人や全国各地の同級生と出会うことができる良い機会**でした。キャリアについて深く考えられる、これからに繋げることができるプログラムなので最後まで頑張ってよかったです。
- 初めはほんとにやっていけるか不安でした。私は途中参加だったし、加えて知ってる人が1人もいない状態でした。探究で有名な学校さんたちが沢山いて、この中でやっていけるのかとても不安でした。けど、**メンターさんたちやなによりチームのメンバーがいたからこそ不安要素はどんどん無くなっていきました。自分でなんとかする力がついたり、語彙力が上がりました。**

- 本プログラムのメンターとして参加をして、**私自身の訊く力及び柔軟性の向上の成長になった**という点で、学びになったと感じます。訊く力に関しては、生徒の表面上の言葉から、何を考えているのか、どんな感情なのかを、問い合わせることを通じて探し、言語化することで、生徒自身が考えを整理する一助になったのではないかと考えています。柔軟性については、今回のミラキャリを通じ、いい意味で準備が通用しない難しさを知りました。事前に生徒との想定問答を用意していたとしても、生徒の表情や反応によって、ファシリの進め方を変えることが必要でした。その時々の状況に応じて、対応を考えたり、時間の使い方を変えたりすることは、メンターとして苦労した点であった一方、**メンター自身の柔軟性やファシリテーション力の向上に寄与した**一面があったのではないかと考えております。
- 社会人でも同じことが言えますが、生徒によって様々な個性があるので、**その一人一人の個性や特徴に合わせたFBをする**ことが、難しくもありとても勉強になりました。また、最終発表会を終えて、チームの生徒が全員ともいい表情をしていた様子を見て、とてもいい形で進めてこられたのかもしれない、とやっと実感というか自信を持てた気がします。終わってみないとこれまでの関わりがよかったですのかどうかが見えてこないところが難しいなと感じました。
- 最初は何か大人らしい何かすごいことを言わなければいけないのかもしれないというプレッシャーを感じていましたが、**大人が何を言わなくとも大人が思っている以上に生徒たちは多くのことを感じ、吸収していたんだな**、ということが最終発表会での気づきでした。また、生徒の中にはこの**短期間でも変化や成長実感を持った**生徒もいて、**その変化や成長の機会に携われたことが何よりもうれしかった**です。最終発表会では泣きそうでした。

- 高校生のパワーはこんなにも力強いのかと思いました。みらキャリやパーソルの皆さまのビジネススキルには多く学ばせていただきました。普段、業界外の方と接する事が少ないので、進行管理やコミュニケーションの取り方など、自分のビジネスパーソンとしてのAs is to beを確認できました。
- 高校生のチャレンジから刺激を受けることができた。また自分自身もキャリアについて振り返るきっかけとなった。仕事図鑑など他の地域での取り組みも知れたりと新しい発見も多くあった。
- 生徒たちの最後のやり切った表情を見て、改めて良いプログラムだと感じました。

- プログラム全体(事務局・メンター・コーディネーター)
 - 企画面においては、高校生は、パーソルその他ゲスト等いろいろな働き方に触れ、キャリア観が広がるきっかけになった。
 - 仕事図鑑や最終発表会の成果物があり「やり切った」という経験が持てる
 - 途中からチーム制になり、定点観測的に成長のフィードバックができるようになった(チーム制でなかったときは、毎度メンバーの情報を見にいかなければならず、至らない点に反省するタイミングが多かった上に、アイスブレイクに時間が取られてしまった。)
 - 最後までやり切るというのを運営側が持っているのがよかったです。
- 仕事図鑑(まなびのみなど)
 - 当初の目的であった仕事図鑑のクオリティにこだわるの部分については、一定程度のクオリティのものができ、HPにも掲載ができた。
 - 15名分の仕事図鑑が完成し、自分のインタビューをした人だけではない、多様な大人のロールモデルに触れる接点をつくることができた。

● プログラム全体(メンター・コーディネーター)

- チーム体制でない最初の時期は生徒の定点観測が難しい
→生徒の性格やエンゲージメントなどバランスを考えたチームづくりのために、オリエンテーションで生徒の様子を見る回にし、それ以降はチーム制にするのが生徒をよく見れる。
- メンター・コーディネーター間の情報共有が難しい。メンターがGoogle関連が見れないことにより、見えづらい情報が多い(特に仕事図鑑の進捗状況・成果物の状況)
→生徒との情報共有を考えるとGoogleを利用することにはなるため。ツールの変更は難しい。特に仕事図鑑の進捗の様子が見れないのがメンターにとっての不安要素が大きいが、この点はコーディネーターの役割であるため、役割の握り直しやメンター・コーディネーター間の情報共有ができる仕組みを考える。昨年はコーディネーター・メンターが実施をするチームミーティングがあったのでコーディネーターとメンターの共有がより密であった。
- コーディネーター、メンターのファシリテーションスキルが個人に依存していたのでマニュアル等があるとよい(2023年度のマニュアルをもっと活用すべきであった)
- メンターとコーディネーターの役割分担は後半になるにつれて定着してきたが、最初からもう少し分かりやすいとよい。
- メンターの稼働の増加。当初は「隔週1時間」のみのコミットという案内だったが、チャットでの進捗確認や細かなフォロー、臨時のzoomなどパーソル側の役割が拡大したように思う。
→パーソル公募時の募集要項はみらキャリ事務局でも確認をした方がよい。タスクの要件定義は精査する前提で、変動要素も多いため「一緒に運営をつくってくれる」というようなスタンスも大事。

● プログラム全体(事務局)

- メンター・コーディネーターの配置。について今回は人数が違いチーム制にシフトした時にPMの三矢がコーディネーターとして入ったが、コーディネーターがさらに欠けるというイレギュラーもあったので、PMが最初からプレイヤーに入らないような体制にしておく。また、メンター・コーディネーターの稼働についての依頼はPMも認識をしておいた方が、PMとメンター・コーディネーター間の依頼がスムーズ。
- 生徒募集が上手く集まらず、説明会予定が当初の予定よりも倍になるなどプログラムへの影響は大きかった。生徒募集についてはプログラム運営の方からはタッチできない体制になってしまっているため、生徒募集の振り返りは課題・原因を考えて振り返りの必要がある。また生徒募集時はPMにも募集状況がわかるようにミーティング等で連携をする。
- コミュニケーションツールについては使い分けが必要。コーディネーター・事務局と生徒の練習がSlackでは滞っているケースが見られたことや、生徒アンケートより、LINEオープンチャットの利用のしやすさの回答もあり、柔軟なツール検討がプログラム運営の円滑さに繋がると考える。
- 欠席・途中離脱の生徒についてのフローを決めておく。
例:ステップ1 Slackで2週間連絡が取れない or 授業を2回連續無断欠席する→PMから電話・メール連絡
ステップ2 学校関係者に連絡(対応期間2週間を目安)・メールでプログラム継続に関する注意喚起
ステップ3 プログラム継続に関しての最終通知をメールで行い、返事がない場合は離脱

● 仕事図鑑(まなびのみなと)

- 今後の仕事図鑑の利用について要検討
 - まずは、みらキャリ内の活用。事業連携のアイデアとしては「みらたび」で仕事図鑑の人々に会いに行く、というようなスキームなど。
- ボリュームが多く生徒の作業負荷・運営の確認工数が高い
 - 仕事図鑑の内容に必要な要素の再定義(今回場合2枚目のプロセス部分は不要)
 - 仕事図鑑の作業に必要な要素の再定義(今回の場合は、許諾書等は事務局・コーディネーターが確認するなど記事制作にコミットしてもらえるような仕組み)
- 仕事図鑑制作のツール(Canva)に苦戦をする生徒が多かった
 - 生徒はGoogleフォームで内容提出、Canvaへのデザインはまなびのみなと、などの分担を検討

実施報告 -学び探究コース-



〃ここがポイント〃



様々な「学び方」「進路」のロールモデルに出会える



自分の「学びたいこと」「やりたいこと」を
言語化するためのヒントが知れる



大学生の先輩と高校卒業後の学びについて対話できる



自分にとって「学ぶ」とは何かに気付くきっかけがある

こんな人たちがみなさんをサポート！



地域・教育魅力化 プラットフォーム

Platform for Sustainable Education and Community

「自分たちの未来は変えられると信じ、自ら挑戦できる意志ある若者に溢れる地域・日本づくり」をビジョンに都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学する「地域みらい留学事業」や、県単位での人づくり・人の流れづくりのモデルを創る「しまね事業」を推進する団体

メンター



山本竜也(ヤマタツ)

#総合型選抜指導
#教育コーディネーター



木村有希(ゆきむ)

#マイプロ
#探究学習デザイン

その他
進路や学びに詳しい
コーチが
参加者をサポート

大学生 / 社会人ゲスト



大学生や学びのロールモ
デルとなる社会人ゲスト
が毎回参加！

まなび探究コース(高校 2年生向け)



NO	実施月	テーマ（仮称）
1	8/7	ガイダンス 学ぶって何？学びをデザインする
2	8/21	進路ってどう決める？ 高校と大学の学びの違い
3	9/4	学ぶ姿勢をつくる：学びのデザイン
4	9/18	高校卒業後の学び①：大学での学び
5	10/2	高校卒業後の学び②：大学での学び
6	10/16	高校卒業後の学び③：大学での学び
7	10/30	進路を決める時のあなたのバリューは？ これまでのロールモデルや学びをふりかえる
8	11/13	発表準備
9	12/3(火)	最終発表
10	12/11	ふりかえり

8月21日(水) 授業 「進路ってどう決める? 高校と大学の学びの違い」

	月	火	水	木	金	土	日
GW1-29	25	26	27	28	29	30	1
午前時間	午前1→午後1時半 午後2→午後4時半						
午前時間	午前1→午後1時半 午後2→午後4時半						
午前時間	午前1→午後1時半 午後2→午後4時半						
午後時間	午後3→午後4時半 午後5→午後6時半						
午後時間	午後3→午後4時半 午後5→午後6時半						
午後時間	午後3→午後4時半 午後5→午後6時半						
午後時間	午後3→午後4時半 午後5→午後6時半						
午後時間	午後3→午後4時半 午後5→午後6時半						
午後時間	午後3→午後4時半 午後5→午後6時半						

大学での学びの深まり方
—大学生の1週間の過ごし方—

【池田の場合】

実家から通学：約1時間半
 バイト週4日：週15時間
 サークル活動：平日昼休み
 授業：週15コマ（90分）

例) 放送大学



年	単位	単位を修得
1年	25	25
2年	40	40
3年	40	40
4年	19	19
	124	124 単位を修得

だから、一般的な大学と同じ卒業資格を得られます。

ワーク

大学を調べてみよう

大学

大学ポートレート

<https://portraits.niad.ac.jp/>

大学基準協会（特色検索）

https://www.juaa.or.jp/case_study/

学部

大学HP>学部・学科情報(受験生サイト)

○○大学+○○学部

授業

学部HP>コース紹介>カリキュラム概要

○○大学+シラバス検索

教授

research map

<https://researchmap.jp/researchers>

9月4日(水) 授業 「自分の学びをデザインする」

探究 240904 第4回3授業
さとのば大学の概要

地域を旅する大学 『さとのば大学』



さとのば大学は、地域を旅する大学として、全国の様々な場所で授業を行っている。学生たちは、各自の興味や目標に応じて、異なる地域で学ぶ機会を得ている。

探究 240904 第4回3授業
さとのば大学の沿革

通信制大学とのダブルスクールで学士取得も可能

地域を旅する大学
さとのば大学 × ネットの大学 managara



ネットの大学managaraとは提携を結び、「地域イノベーターコース」として共同運営しています。地域留学しながら、スマートフォンやタブレットでの動画視聴で、[経済学士号の取得](#)を目指せます。

※managara以外の通信制大学とのダブルスクールや、さとのば大学のみの受講も可能です。ダブルスクール先の大学にはご自身で出願手続きが必要です。

「どこに向かって学ぶのか」

ワークショップ



◆そもそも 学ぶって どこに向かって学ぶのだろう？

- A 自分のことが 好きになれる(ちょっとずつ)
- B ちゃんと食べていける感覚、仕事力が身に付くので会社員として生きていける感
- C 仕事を楽しめるところまで、ハックする力が身に付くから、会社員としても楽しみきれる感覚になれる
- D ガシガシ稼げる、インパクト出せるので、「ワークとライフを分けて」
好きなワークで 必要とされて、家族もつくれて幸せな生活イメージができる
- E 社会課題解決に向けて、自分の人生を使って、仲間とともに、
ちょっとずつでも変化を生み出せる ライフに向けて動いていく。
- F へんてこ世界観 を体現できる面白人材として、人のあり方の選択肢を増やせる
- G なるだけ簡単に楽してお金もらって平和に過ごしたい
- H センス・オブ・ワンダーで、生きていることを楽しむのがうまくなる

9月18日(水) 授業 「高校卒業後の学び①～富井優花さん (慶應義塾大学)～」

モチベーショングラフ (高校3年間)

Y-axis: モチベーション (Motivation)

X-axis: 高校3年間 (High School 3 Years)

Legend:

- ↑ 1次合格 (1st Qualification)
- ↑ 2次合格 (2nd Qualification)
- ↑ 3次合格 (3rd Qualification)

Graph Points:

- ① 高校1年春 ついに高校生だ！ 受験について考え始めるぞ！
- ② 高校1年秋 もう秋、。汗まだ全然進路とか決まってないやばい！
- ③ 高校2年春 模索、失敗、困惑、勉強大忙し！がんばるぞ！！
- ④ 高校2年夏 独りで、学校生活も楽しくないやがなーいの？
- ⑤ 高校2年秋 学校生活も楽しくないやがなーいの？
- ⑥ 高校2年冬 私はどこに向かっていいの？迷路は？
- ⑦ 高校3年春 いよいよ受験生！志望校固めぞ！
- ⑧ 高校3年秋 1次合格！
- ⑨ 高校3年冬 2次合格！
- ⑩ 高校3年春 3次合格！

Comments:

- ① 高校1年春 ついに高校生だ！ 受験について考え始めるぞ！
- ② 高校1年秋 もう秋、。汗まだ全然進路とか決まってないやばい！
- ③ 高校2年春 模索、失敗、困惑、勉強大忙し！がんばるぞ！！
- ④ 高校2年夏 独りで、学校生活も楽しくないやがなーいの？
- ⑤ 高校2年秋 学校生活も楽しくないやがなーいの？
- ⑥ 高校2年冬 私はどこに向かっていいの？迷路は？
- ⑦ 高校3年春 いよいよ受験生！志望校固めぞ！
- ⑧ 高校3年秋 1次合格！
- ⑨ 高校3年冬 2次合格！
- ⑩ 高校3年春 3次合格！

共通点 (高校&大学)

今を後悔なく生きること

未来や過去だけ
ではなく「**今**」も
大切に生きる

いつまでも笑顔で
幸せに生きるために、
尊い命を救うための防災
で身近にいる
大切なひとを守る



10月2日(水) 授業

「高校卒業後の学び②～渡邊しほさん（岡山大学） 藤本紅葉さん（都留文科大学）～」

まなび探究_241002第回5授業

岡山大学



- 入学のタイミングで工学部があたらしくなり、建築分野が追加される
- 木質建築に力をいれた教育をすると、宣伝されていた
津和野で木造住宅に住み、近くに山がある環境になり、木の良さを感じていた
- 学校推薦型選抜があり、面接・口頭試問のみで学科試験が必要ない
- キャンパスが岡山駅から近く、立地が良い

まなび探究_241002第回5授業

高校卒業後の進路選択

- なんとなく中四国・関西・九州の国公立大学で範囲を絞っていた
- 自分の周囲に一般で受験する人があまりおらず、モチベはあまりなかった
- 学校推薦型で行ける大学を探してみる

● 自分の中での条件

- 一人暮らしができる
- そこそこいい大学
- 田舎過ぎない立地

10月2日(水) 授業

「高校卒業後の学び②～渡邊しほさん (岡山大学) 藤本紅葉さん(都留文科大学)～」

2まなび探究_241002第回5授業

自己探究

大学進学に関わることだけではなく、
生活面や精神面のことまで

例えば、、、

- ・自分が幸せだと感じる瞬間は？
- ・楽しいとは何か
- ・自分の経験からどんな成長があったか

まなび探究_241002第回5授業

国際教育学科とは、、、

IB 国際バカロレア教育

国際的な視野を持つ人を育てる

地球規模での探求

教科横断型の授業

ex) 英語で体育の授業

ex) 日本の学力が
下がっていることに
対するアプローチ方法

10月16日(水) 授業

「高校卒業後の学び③～今泉理子さん (ビジネスブレイクスルー大学)
佐藤舞絵さん(エセクター大学)～」

高2まなび探究 241016第6回授業

他の特徴

- グループワーク 必須の授業が割とある
- 7割が社会人
社会人ではない→専業学生
- いつどこでも勉強できる
→課外活動を積極的にできる
→日中働き、夜と休日勉強
- 経営者の教授が多い

14:45 / 45:50

YouTube

高2まなび探究 241016第6回授業

高校生に伝えたいこと

自分を知ることが超大事！！！

- 好きなこと・やりたいことってなんだろう？
- それはなんでなんだろう？

△役立ちそうだな…

16:59 / 45:50

YouTube

10月16日(水) 授業

「高校卒業後の学び③～今泉理子さん(ビジネスブレイクスルーハイスクール)～ 佐藤舞絵さん(エセクターハイスクール)～」

高2まなび授業_241016第6回授業
なんぞ海外大学?

02 卒業後の進路を見据えて? 国内 一口世界中どこでも



□ 大企業 一 ベンチャー 安定 一口挑戦
 □ チーム 一 個人 年功序列 一口実力主義
 □ 私生活 一 仕事時間 自分がしたいこと 一 できること
 一緒に働きたい人: ポジティブな人 よく笑う人
 人を見下さない人 幸せな人

© maho_0712

高2まなび授業_241016第6回授業
メリット・デメリット

03 海外に挑戦すると..

Advantages

- ・語学力が身に付く
- ・価値観が広がる
 - ・他者を先入観で区別しなくなる
- ・欧米の伝統的な街並みに住める
- ・就職活動でアピールできる
 - ・海外大学生市場は伸びてる
- ・行動力 / 主体性が身に付く
 - ・自分を認めることができます
 - ・周りの目が気になるなくなる
- ・各分野でトップレベルの教育
 - ・論文を英語で読む力がつく
- ・学ぶための大学生活が送れる
 - ・日本よりも健全なクラブナイトを楽しめる

Disadvantages

- ・渡航前までにある程度の語学力が必要
IELTS 6.5
- ・国によっては莫大な費用が掛かる
 - ・学費年400万+生活費+家賃
 - ・英国までの往復空旅費50万
 - ・物価が異なる 雑貨の切り身2000円
- ・簡単に日本への帰省が出来ない
 - ・日本食が食べられない
- ・家族 / 友達と疎遠になる
 - ・成人式に出られない
- ・差別じゃないけど 区別はある
 - ・自分の機運は自分でとる
- ・自立が必要
 - ・家事 / 白衣 / 健康管理 / 人間関係

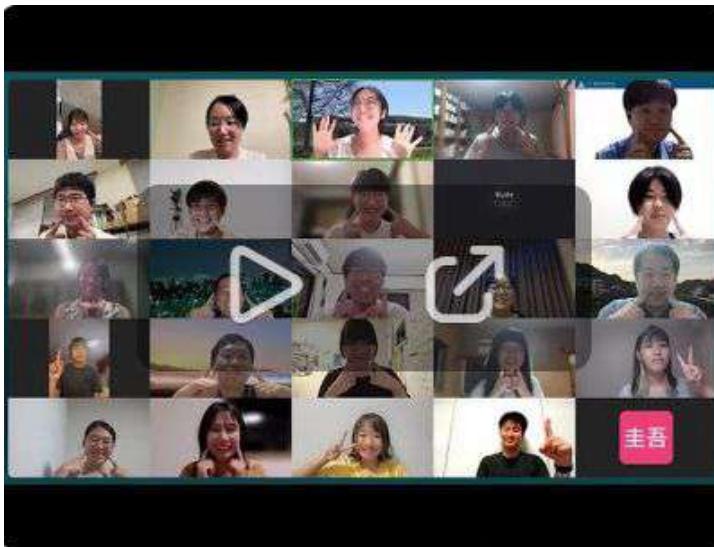
© maho_0712

最終発表会テーマ

- 自分のこれから学びを考える上で大切にしたいことはなにか?
例) 学び方・学ぶこと・学ぶ場所 etc..
- それはなぜか?どうしてそういう考えになったのか?

総合型選抜ゼミ 最終発表会 参加者

- 受講生: 9名 (高校3年生)
- 教員: 4名
- 運営メンバー: 5名
- 地域・教育魅力化プラットフォーム: 3名



総合型選抜ゼミ 最終発表会

テーマ:
**志望大学へのモチベーション
を3分で伝えよう**

□ 大学職員がその場にいるつもりで
□ 何を学びたいのか / なぜ学びたいのか / それがなんの経験に結づいているか / なにをしたいから学びたいのか etc..



- このプログラムに参加しようと思った理由やきっかけを書いてください。
- 行ってみたい大学や気になる大学が多く迷っている、今気になっている大学より更にいい大学を見つけたい、海外の大学等についても知れそうだから。
- 色々な人と関わるから。
- 将来やりたいことは多々あるがまだ明確に決められないから決めるためのきっかけになりそうだから。
- 将来について考える際に、現役の大学生や働いている大人の人の声を聴いてみたいと思ったから。このプログラムに関わる方々はどのような大学生、大人なのかすごく気になり話してみたいと思ったから。
- これまで僕は、限られた選択肢の中で進路を決めようとしていましたが、最近大学に行きたいという気持ちが大きくなってきました。ですが大学はたくさんあって、なかなか決めるにも難しかったです。また、海外留学などもしたいと思うようになってきて、海外の学校なども調べると山ほどあるので、自分にとって合っている学校を見つけたいと思うようになりました。そんな時、このプログラムを姉が教えてくれました。

まなび探究コース 参加時アンケート回答（一部抜粋）

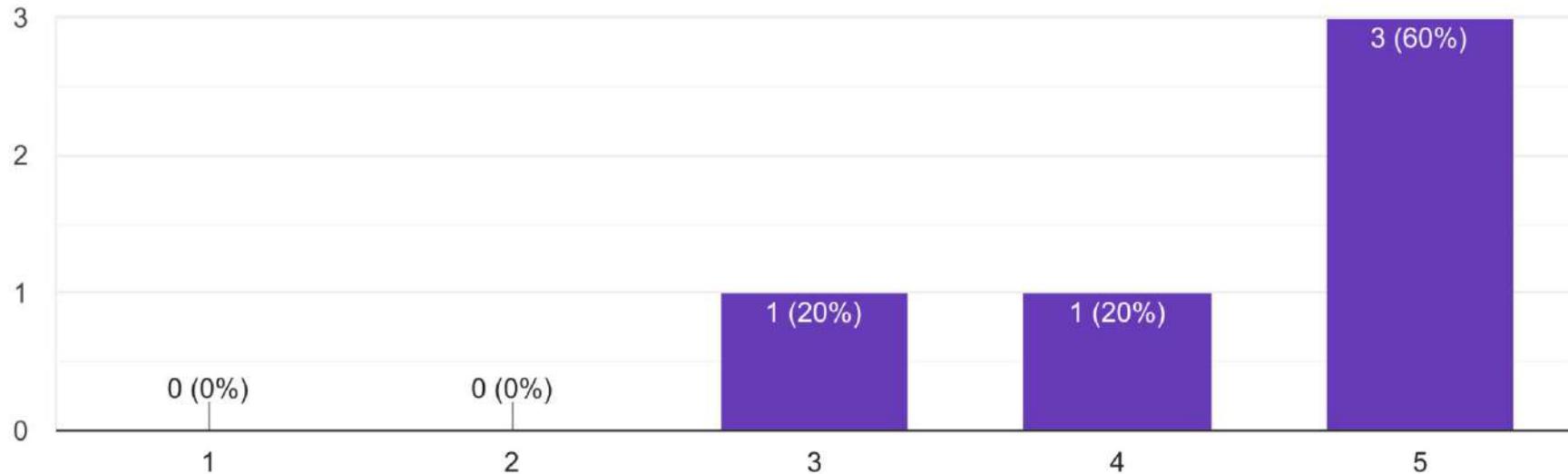
- このプログラムへの期待や学びたい・得たいことを書いてください
 - クラスマイトとは将来や「学ぶこと」といった内容の話を本気でできないから、それについて本気で語り合える同級生や大人と出会いたい。普段受けていたる授業が違う人と、教科的な「学ぶ」についてや、人としての「学ぶ」についての様々な意見や価値観を得たい。そして、それら異なる「学ぶ」を繋げさせるためにできることはないか考え、「教科学習と探究学習」の横断に活用していきたい。
 - 様々なところにいる高校生と関わって新たな価値観を手に入れたいと考えています。
 - いろんな進路に進んだ先輩からの話を聞いて進路の選択肢を広げ、自分が学びたいことを考えて、自分に一番あった進路を決めたいです。
 - ミラキャリへの参加を通して、自分よりも面白いことを考えている人にたくさん出会ってみたいのです。人の感情や考えていること知るのが好きなのですが、中でも個人的な理念や考え方を持ってアクションを起こしている人について知るのが大好物です。こうした経験がミラキャリを通してたくさんできたらいいなと思います。また、副産物として、アクションを起こす人たちから刺激を受けて、自分の将来に具体的なイメージが持てたら嬉しいです。

まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）



プログラム全体の満足を教えて下さい（学びの量...ターのアドバイス・運営に関わる人たち、など）

5件の回答

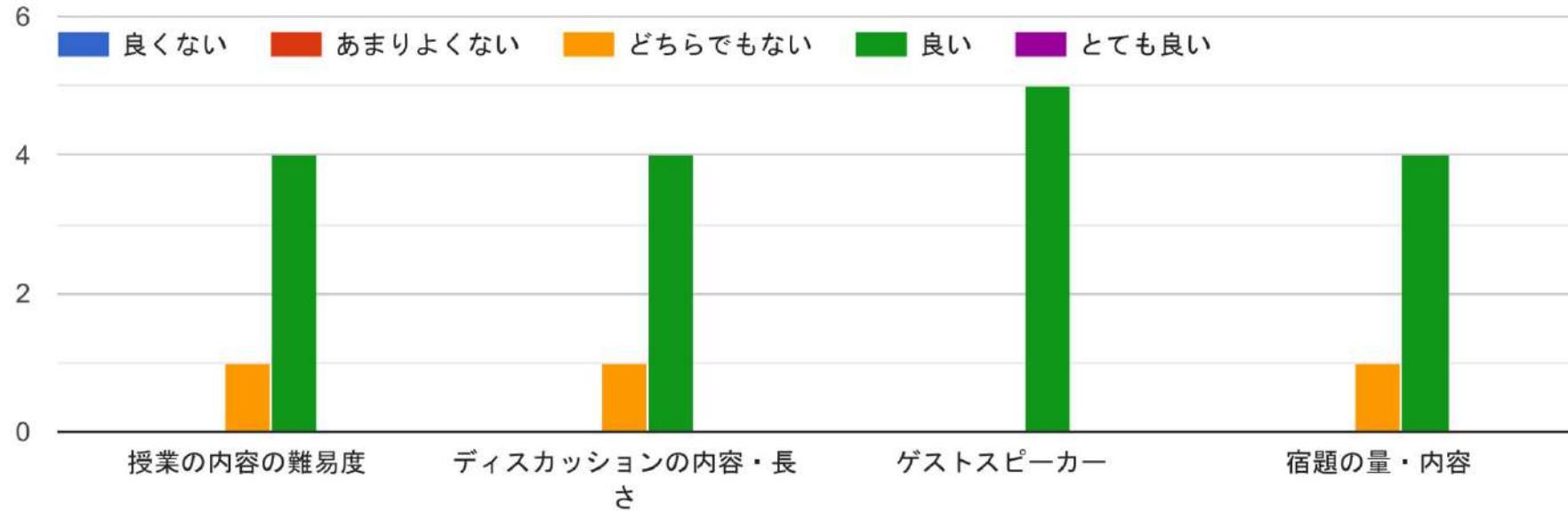


- プログラムに参加したみんなの感想をおしえてください

- 私は、ミラキャリのプログラムを通して、挑戦することの大切さを学びました。どの大学の方もそれぞれが好きなことに積極的に取り組んでいてとても輝いて見えました。また、意見交換を通して、以前よりも話す力が伸びた気がします。やりたいことが決まっている人も、決まってない人もぜひ1歩踏み出して参加して見てほしいです。
- このプログラムは新たなことを沢山知ることができる。ということだけでなく、ずっと持っていた自分の力を新たな発見とし見つけ、それを未来にどう繋がるのか、そんなことを様々な経験をしている大学生や、大人と関わることで見つけられる。そんな場所でした。自分について深く考えることは普段生活していてあまり、ある機会ではないと思います。この場所はそんな自分について考えることが出来る場所、そして同じく自分について考えている仲間と大人がいることで刺激を受け、より沢山のことを考えられた。と感じています。そしてなにより、自分だったら1つの意見しか待てなかつたこともこのプログラムの沢山の意見を聞いて新たな価値観を持てました。本当に素晴らしい場所で私自身を大きく成長させてくれたな。と感じています。
- 月に何度か集まる授業が、立ち止まって物事を考えるいい機会になった。様々な人の価値観を聴くことによって、自分の思考や行動の変化に気づけた。

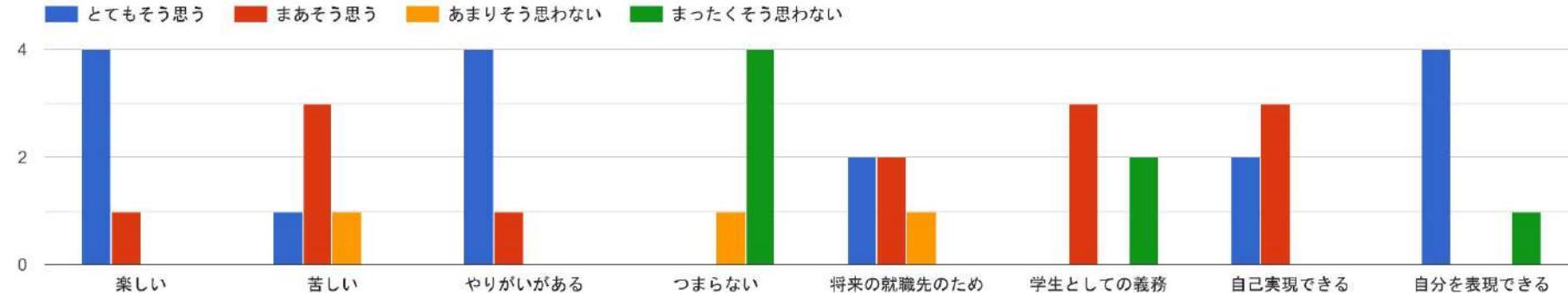
まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）

それぞれの項目についての感想を教えて下さい。



まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）

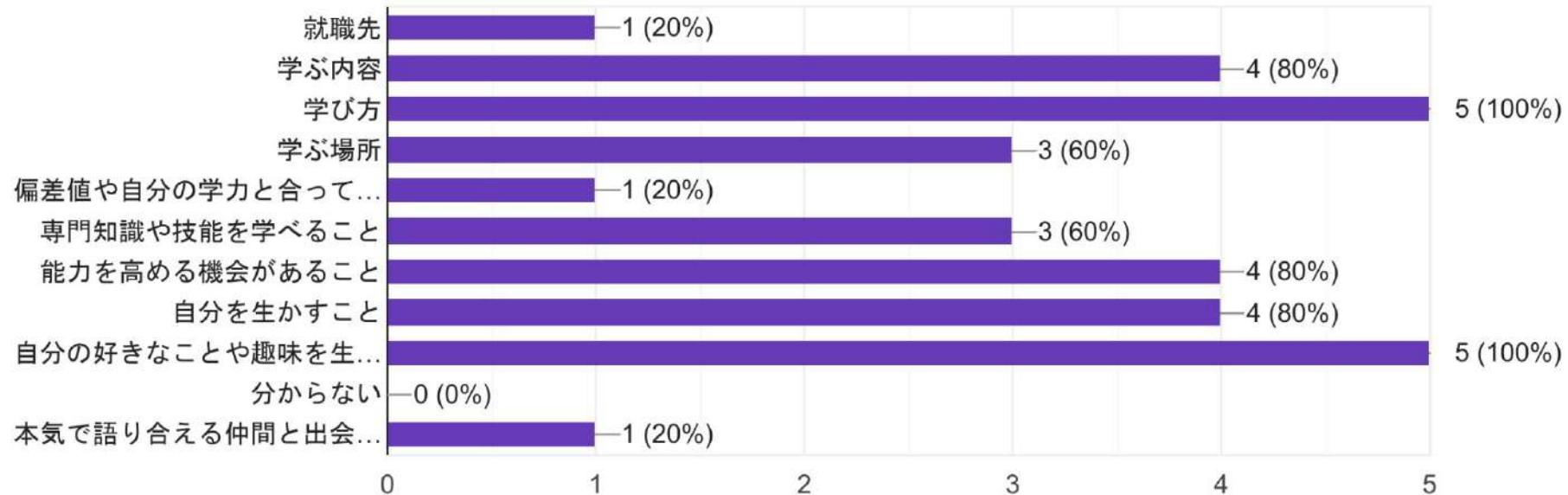
6. あなたにとって「学び」や「進路を考えること」はどのようなイメージですか？



まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）



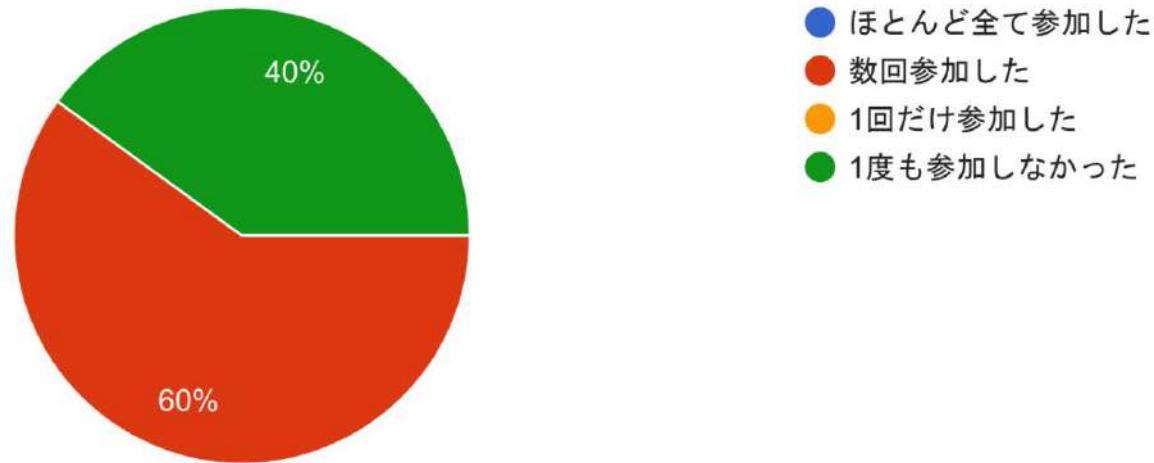
7. 進路を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください
5件の回答



まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）

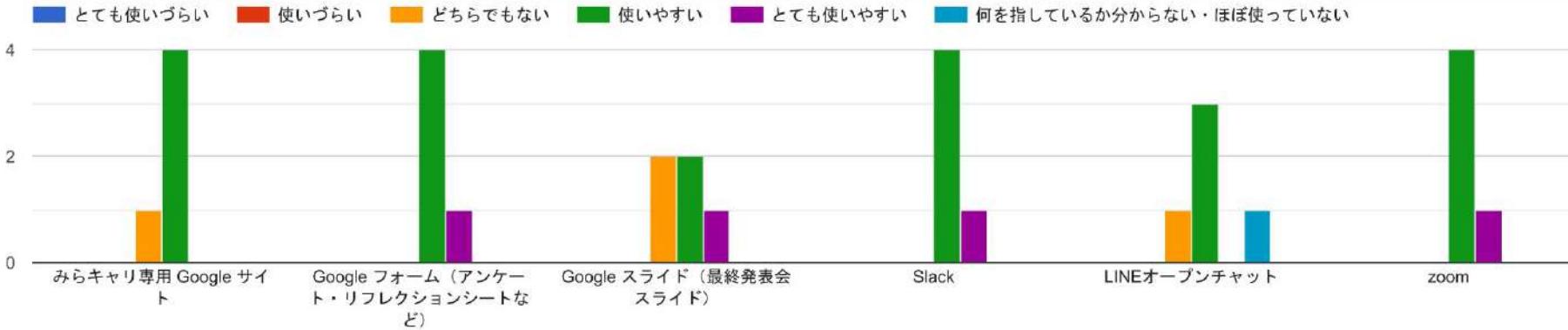
隔週で行われていたコーチングにどの程度参加していましたか？

5件の回答



まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）

それぞれの項目についての感想を教えて下さい。



- 運営メンバーふりかえり

- 大学生がメインゲストで大人はあくまでサポート＆ファシリをする構成がよかつた
 - 大学生の生の声が一番のモチベーションになった
 - 個別具体的な大学生活や受験ストーリーを多様な視点で複数人がインプットすることが大切
- 「まなび」というものが高校生にとって抽象度が高くコースの名前を変えるなどもう少しわかりやすくすると期待値に合った生徒が参加する
- 大人と細かくコミュニケーションをとる時間はとれなかつた
- どこまでを目指したプログラムにするのかを明確に参加者にも共有する必要がある
- 生徒のモチベーションの維持が難しかつた

- 改善点・提案

- slackでの会話が活発化しやすく、ツールのみなおしが必要
 - slackだと生徒からの返信がクイックに返ってこず、または何度もリマインドしなくてはならなかつた
 - 何度もリマインドしなくてもよい仕組みまたはツールのみなおしが必要
- 生徒とコーディネーターの関係の質を上げるための仕組みをつくる
 - チーム制
 - 生徒と相互やりとりが活発にできる場をもうける

実施報告 -総合型選抜ゼミ-



〃ここがポイント〃



自分のことを見
て分析する方法を学ぶ



「自分について」「学びたいこと」「やりたいこと」を
言語化するためのアドバイスがもらえる



実際に総合型選抜を受けた先輩と話せる



総合型選抜の選考書類が完成できる

こんな人たちがみなさんをサポート！



地域・教育魅力化 プラットフォーム

Platform for Sustainable Education and Community

「自分たちの未来は変えられると信じ、自ら挑戦できる意志ある若者に溢れる地域・日本づくり」をビジョンに都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学する「地域みらい留学事業」や、県単位での人づくり・人の流れづくりのモデルを創る「しまね事業」を推進する団体

メンター



山本竜也(ヤマタツ)

#総合型選抜指導
#教育コーディネーター



木村有希(ゆきむ)

#マイプロ
#探究学習デザイン

その他
総合型選抜に詳しい
コーチが
参加者をサポート

先輩大学生



慶應SFC等
総合型選抜を経験
した大学生が
毎回参加！

総合型選抜ゼミ 概要

対象/定員

高校3年生 / 10名

授業日/期間

毎週水曜日 19:00~20:15
6月5日(水)~7月31日(水)

- ↳ レクチャー(30min)
- グループコーチング(30min)
- 諸連絡 (15min)

レクチャーパート(19:00~19:30)

大学生ゲストが毎回参加!
総合型選抜の書類作成に役立つ
「自分のこと」を言葉にする方法を解説!



グループコーチング (19:30~20:00)

参加者の自分についての言語化を深堀りする
グループコーチング
-レクチャーのふりかえり
-総合型選抜の書類を書く



課題

次回の授業までに行う課題あり
自分のことをもっと深められる
ワークシートに取り組みます!

7/31(水)
最終
発表会
|
オンライン

12/3
(火)
1・2
年生
との
交流会
(任意参加)

総合型選抜ゼミ レクチャー内容



NO	実施月	テーマ（仮称）	ゲスト大学生	内容イメージ
1	6/5	ガイダンス		このプログラムの概要/趣旨説明 総合型選抜との関連性の話
2	6/12	自分の想いを言語化するSTEP	池田詩織 (関西大学)	自分の考えていることの言語化をする方法やヒントを学ぶ 自分のやりたいことと学びたいことを言語化をはじめる
3	6/19	自分を知る/分析する	堀田結子 (国際基督教大学)	自分の強み弱みを言語化する 自分の性格や性質を知る
4	6/26	先輩トーク①	池田りき (立命館アジア太平洋大学)	大学生の先輩から聞く進路や入試のアレコレ 高校の学び→大学の学問へ
5	7/3	過去をふりかえる:人生チャート②	富井優花 (慶應義塾大学)	自分の今までを振り返りながら、自分の強みになる経験やアピール ポイントを探す
6	7/10	先輩トーク③	川瀬ありさ (東京大学)	大学生の先輩から聞く進路や入試のアレコレ
7	7/17	未来の言語化: 自分のやりたいことを言葉にする	松田蓮 (慶應義塾大学)	自分のやりたいことを言語化する
8	7/24	未来の言語化:学びたいことを言語化する	池田詩織 (関西大学)	やりたいことから学びたいことを言語化する 学問との接続
9	7/31	ふりかえり/最終発表		ふりかえりと学びの発表 総合型選抜にむけて

総合型選抜ゼミ ゲスト大学生

池田詩織さん(関西大学)



6/12 自分の想いを言語化する STEP

経験の言語化と意味づけ

(例) 池田の場合



7/24

未来の言語化: 学びたいことを言語化する

大学とはどんなところか
—学びたいことは学部の名前だけではわからない—

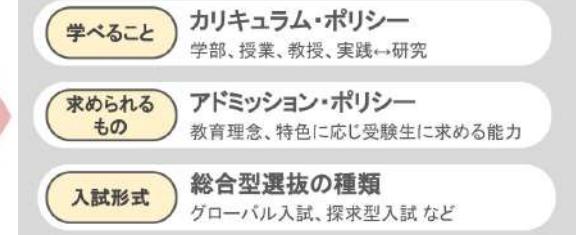
例) 研究者・今井むつみ: 第二言語の獲得と学習について【認知心理学・発達心理学】



進路決定までの4ステップ



自分に合う大学の探し方
大学について語れる

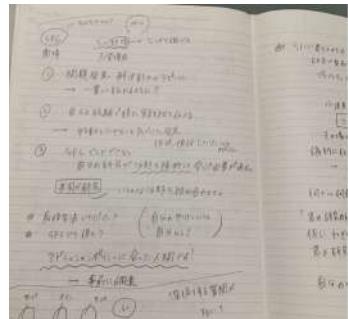


富井優花さん(慶應義塾大学)

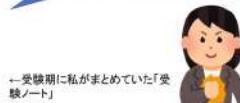


7/3

過去をふりかえる:人生チャート②



自分の考えを
言語化することで、
考えを整理することができた！



メタ認知 (自分自身を客観的に把握すること)

<私なりの手法>

- ①自分の経験を時系列に並べる
- ②原体験について詳しく書き出す
- ③自分の短所/長所を書き出す
- ④対話を繰り返し、自分を知る



①自分の経験を時系列に並べる

→自分の経験が整理されることで、原体験の発見に繋がる

point

自己理解に繋がりそうな内容をとにかく並べる！！

堀田結子さん(国際基督教大学)



6/19
自分を知る/分析する

自己分析の3つステップ

①モチベーショングラフを作成しよう

現色の自分が大切にしている価値観や考え方などはどんな経験と組み合っているだろう?

②人生の転換点を書き出そう

モチベーショングラフをもとに、人生の転換点となった出来事には何があるだろう?

③言語化しよう

自分の価値観や考え方の変化を意識して、ChatGPTを活用して言語化しよう

ChatGPT

①モチベーショングラフを作成しよう

過去から現在までの幸福度を線グラフで表し、当時の感情の流れを詳細に書き出す



②人生の転換点を書き出そう

自分の人生に影響を与えたできごと・人・転機を書き出す。また、その時に影響を受けた言葉やメッセージ（人生観・家族観・仕事観についてなど）も！

島根県津和野町への地域みらい留学

(1) 中学・高校時代の不登校

光雲聖な性格が起因して、不登校を繰り返す
「不登校＝負け組」
映画や本の世界に閉じこもる

(2) 地域活性化プロジェクト

源氏巻をきっかけに船子が好きになる
観光客だけでなく、地元住民にも広めたい！
源氏巻×観光マップ『源氏巻MAP』の作成

中学生・高校生不登校を経験した。不登校は、社会において無視感といひ入り感が強くなることで始まる。自分自身、母から山口県で「ひまわり」が植えられ、島根県津和野町へ赴任することになった。津和野町では、島根県一度で唯一活性化が成功した町だと記憶した。私は、津和野町に定める看板といひ伝統的看板をきっかけで不登校の船子をきっかけで不登校を行わなかったことで、この魅力を発見するだけでなく、地元住民たちにもつながる。源氏巻の文化活性化を行った。この書物を通して、私は船子を愛する。多様な文化における江戸時代、人々が江戸時代の文化を高めよう。

この中に足りない船子は？

壁打ち相手として
ChatGPTを活用しよう！

ChatGPTをインストール後、チャットボックスに質問を投げかけてみよう！

池田りき (立命館アジア太平洋大学)

6/26 先輩トーク①



04 入試の時期がやってきた...

別府の大学に進学を決意

- ・高校3年の夏まで志望校決まらずめっちゃ焦り担任と相談
- ・ヤマタツなどのAOプロを頼る
- ・3回受験チャンスがある活動実績を選択

04 立命館アジア太平洋大学（APU）って？

学生の半分は国際学生

中国・韓国・インドネシアなどアジアの学生を中心に戦世界各国の留学生がいる

環境や観光・経済学などを学べる

外国人と友達になれる！！



05 入試に大切なこと

人に助けを乞う

自分はヤマタツなど様々な人にお願いして面接練習や志望理由書を書き上げた頃の人は全面的に頼ろう！

様々な入試方式がある

勉強で入る形や小論文を書く形、自分のようにこれまでの活動実績を面接で話すなど、自分に合った入試方法を見つけよう！

活動をまとめる

これまで何か活動や試験で話せそうな事があれば必ず事細かにまとめて頭を整理しよう！

色々な人に助けてもらうのもおすすめ！

目標を設定しておこう

大学生活で何をしたいかを明確にしておけば、入試に役立つかも！スタートダッシュも切りやすい！

総合型選抜ゼミ ゲスト大学生

7/10 先輩トーク②

基本情報

名前:川瀬ありさ

出身地:東京都

高校:島根県立津和野高等学校

（「地域みらい留学」をしていました）



大学:東京大学 前期教養学部 文科三類 教育学部推薦生

どうして東大教育学部を選んだのか

3年間の津和野での生活・探究活動を通して…

人とのつながり、助け合い

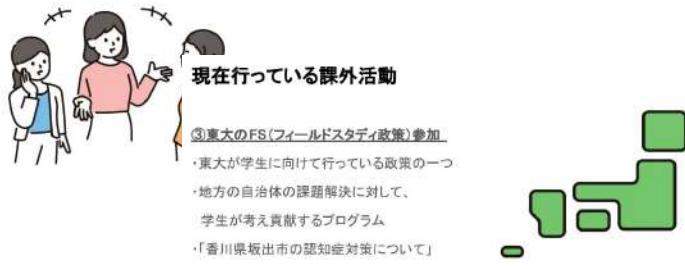
人と話すことによって、「自分」が見えてくる感覚

↓

こういう機会がもっとあればいいのに！

↓

社会教育・生涯学習／社会福祉

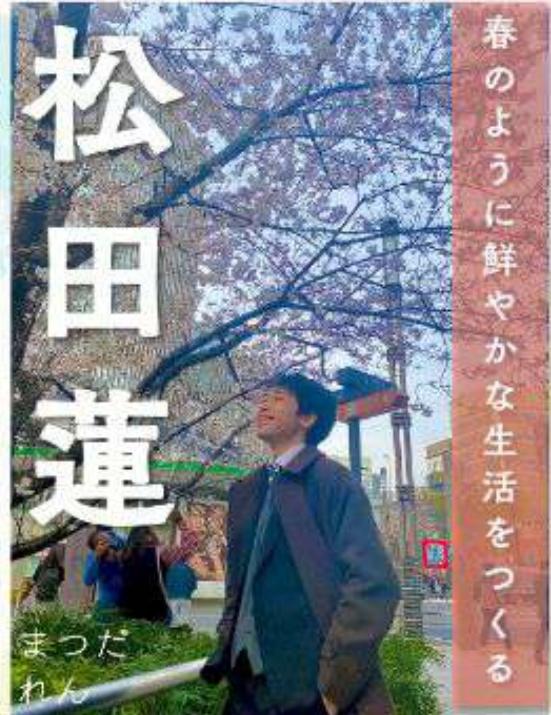


受験準備時期

自分の主張・ポスターの構成について、考えている時のメモ

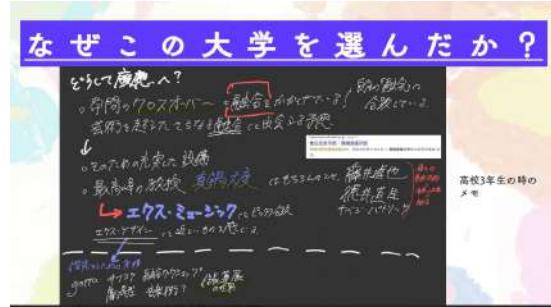


松田蓮さん(慶應義塾大学)



7/17

未来の言語化：自分のやりたいことを言葉にする



言語化するための9の手段

①大学に向けての「やりたいことの言語化」

- 好きなことから拡張してみる
- 学んでみる
- 出会ってみる
- 話してみる
- とりあえずやってみる
- 旅をしてみる

②人生に向けての「やりたいことの言語化」

- サイクルを回してみる
- 一度決めてみる
- やっぱりとりあえず旅をしてみる

テーマ：

志望大学へのモチベーション を3分で伝えよう

- 大学職員がその場にいるつもりで
- 何を学びたいのか / なぜ学びたいのか / それがなんの経験に紐づいているか / なにをしたいから学びたいのか etc..



テーマ:

志望大学へのモチベーションを 3分で伝えよう



発表者

3分

- ①自己紹介 (名前 / 学校名)
- ②志望大学へのモチベーション

- 何を学びたいのか
- なぜ学びたいのか
- それがなんの経験に紐づいているか
- なにをしたいから学びたいのか etc..

発表者以外

- zoomのチャットに発表者への質問を入力

- 大学の面接官になったつもりで質問を考える
- できるだけたくさん質問を入力

2分

発表に対する質問 (1問)に答える

- zoomチャットの中から1つピックアップ
- 大学の面接官から聞かれていると思って回答

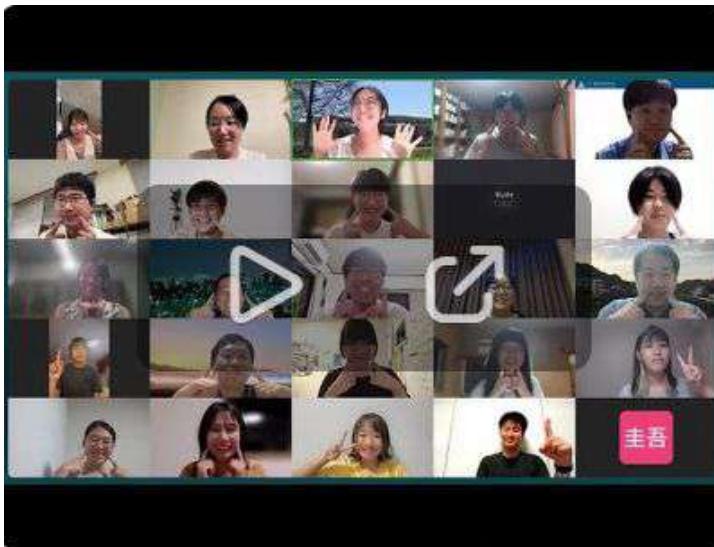
激励コメントを入力

- 発表者の褒めポイントをチャットに入力
- 発表者へのエールを送る

- 最終発表のふりかえり
 - 発表してみての感想
 - 記入された質問をふりかえる
- プログラムのふりかえり
 - 自己探究プロフィールシートをみながら ...
 - 自分の成果・変化はなに？
 - 新しく気付いた・学んだことはなに？
- 明日からのアクション
 - 明日からまずどんなことに取り組んでいくか具体的に決めよう！

総合型選抜ゼミ 最終発表会 参加者

- 受講生: 9名 (高校3年生)
- 教員: 4名
- 運営メンバー: 5名
- 地域・教育魅力化プラットフォーム: 3名



総合型選抜ゼミ 最終発表会

テーマ:
**志望大学へのモチベーション
を3分で伝えよう**

□ 大学職員がその場にいるつもりで
□ 何を学びたいのか / なぜ学びたいのか / それがなんの経験に結びているか / なにをしたいから学びたいのか etc..



総合型選抜ゼミ 参加時アンケート回答（一部抜粋）

- なぜ総合型選抜入試を希望しているのか書ける範囲内で記載ください。
- 学力だけではなく、人間性などを総合的に評価してもらえるためです。
- "探究活動に力を入れてきた自分の高校生活から、自分の強みは探究力と物事に取り組む時の熱意であると考えています。そう言った自分の強みを生かして戦える受験方式が、総合型選抜だと思っているので、希望しています。
- 私の志望校は総合型選抜入試の枠が圧倒的に大きいため。合格後から大学入学までの期間を利用し、将来の目標に向けた資格取得や活動をしていくため。
- 自分自身の見つめ直しに繋がると考えたから。自分にとって良い経験になると 생각 했기 때문입니다.
- 自分の学力では一般の試験を通過することが厳しそうだが、夢を叶えるために難関大学に合格したいから。

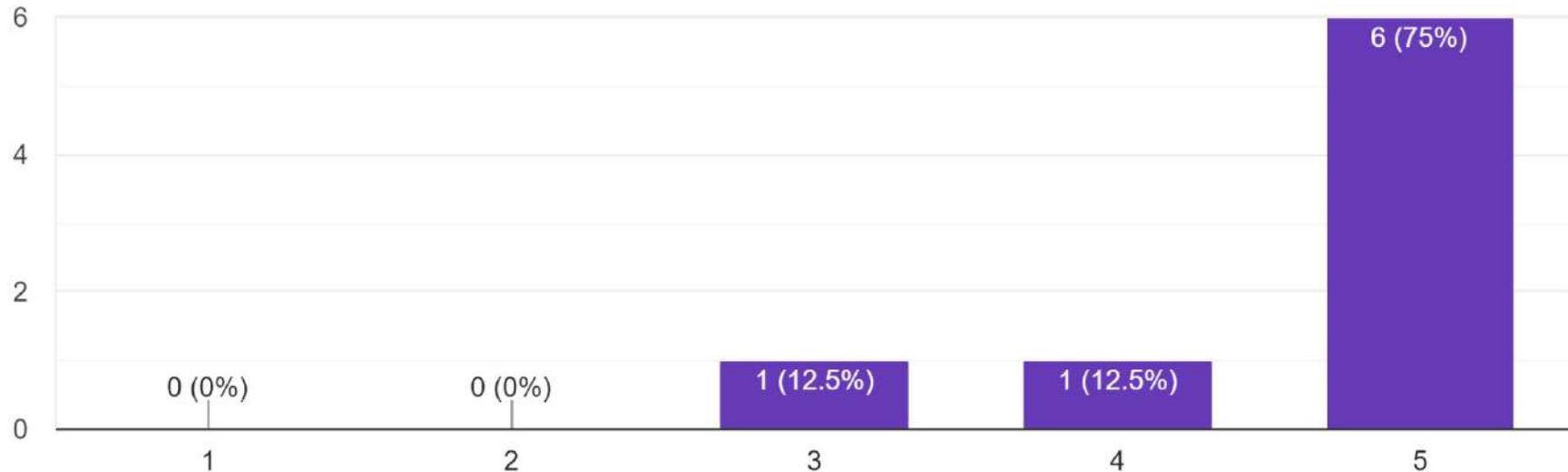
総合型選抜ゼミ 参加時アンケート回答（一部抜粋）

- 本プログラムで得たいことや目標を書いてください。
- 志望理由書を書くうえで大切なことを学び、自分のこと、学びたいこと、未来の生き方を整理し、志望理由書を端的に描けるようになりたいです。
- 3年間自分の好きなこと、ビビッときたことに気持ちの向くまま取り組んできました。そのせいでいま、自分の強みはなんなのか、自分が人に誇れるものはなんなのか、自分が将来何になりたいのか。全く分からなくなり、ずっと迷子です。とにかく迷子です！！
- プログラムのなかで自分の3年間を言語化し、磨いていくことで、綺麗に取り繕った志望理由ではなく、私にしかないと自信を持って話せるような志望理由、活動経歴をまとめて作っていきたいです。
- 自分について知る。自信を持って面接を受けられるようにする。
- 現時点では自分の内面を言葉にする能力など、総合型選抜に必要なものが不足しているため、このプログラムを通して、難関大学に合格するために必要な言語化能力を身につけたいです。それとともに、受験を経験し、実際に大学で学んでいる先輩方との交流で、進路に対する悩みや不安を解決し、自信を持って受験に臨めるようにしたいです。

総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

総合型選抜ゼミの満足度を1~5でおしえてください

8件の回答



総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

● 満足度の理由

- 自己分析できる機会を与えてくださった上に、とことん向き合ってくださったからです。
- 「総合型を受験する」という意識を、ゼミを通して割と早い段階で持てたため、日常生活で考えることが増え、割とすんなりと志望理由書等の構想が持てたと思います。
- また、大学生のアドバイスを聞け、少し緊張感がほぐれました。（面接は漫才だと思え!!や、自分を知ってもらえるチャンス !!など）
- インターネット上という慣れない活動で不安が最初はいっぱいだったけど、雰囲気が非常に良かったため、自分を前に出すことが出来たから !!
- 先輩方の経験などから、総合型選抜の具体的なイメージが持てたし、多様な考え方も得られたから。
- スライドや経験談のおかげでスタートダッシュに困ることが無くて、助かったから。
- 個人の相談もちろんと対応してくれたから。

総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

- 総合型選抜ゼミを通して新しく学んだこと・気づいたこと・成長したこと等あればおしえてください
 - 自分が本心で思っていることがわかるまで追求できる2ヶ月で、自分自身に発見だらけの時間でした。楽しかったし、苦しかったですが、何よりも自分の成長につなげてくださったゆきむとやまたつ、生徒のみんなに感謝したいです。
 - 自分の強み、弱み、やりたいこと、大切にしている価値観、過去の体験から学んだことなどを考え、言語化することが出来るようになった。
 - 「総合型選抜は自分を知ってもらえるチャンス !!」と聞いて、今までそういった考え方をしたことなかったなと思った。また、総合型選抜は、過去の自分をじっくりと振り返り、今後どのような人生を歩みどのような人間になりたいのかを考えるので、今後の人生をより充実したものにできると思った。
 - わからないことや不安なことを恥ずかしいこととして自分 1人で抱えるのではなく、分からぬことを言葉にして人に相談することが大切だと気がつけた。

総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

総合型選抜ゼミを通して自分がことが、以前より明確に伝えられるようになりましたか？

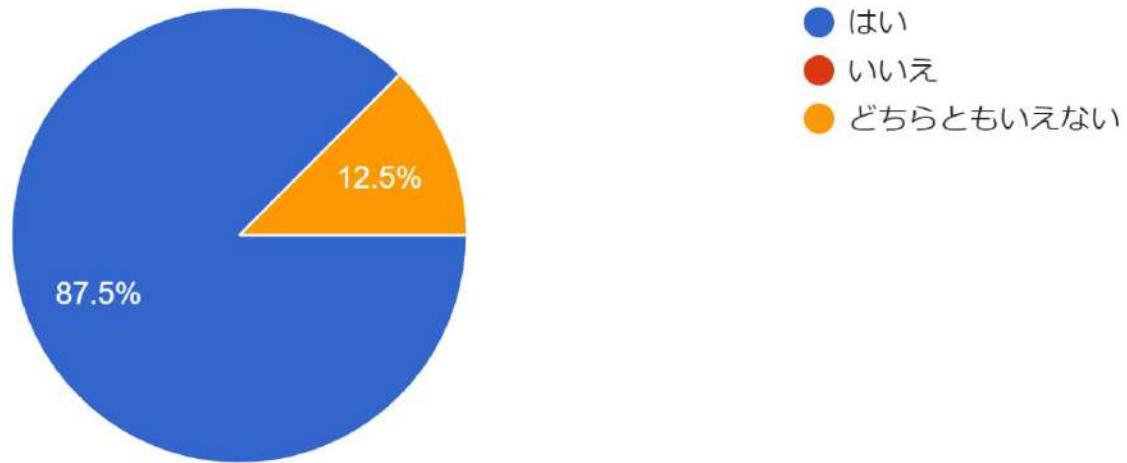
8件の回答



総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

総合型選抜ゼミを通して総合型選抜入試や大学についてより詳しく知ることができましたか？

8件の回答



総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

総合型選抜ゼミを通して自分の学びたい分野や将来進みたい方向が以前より明確になりましたか？

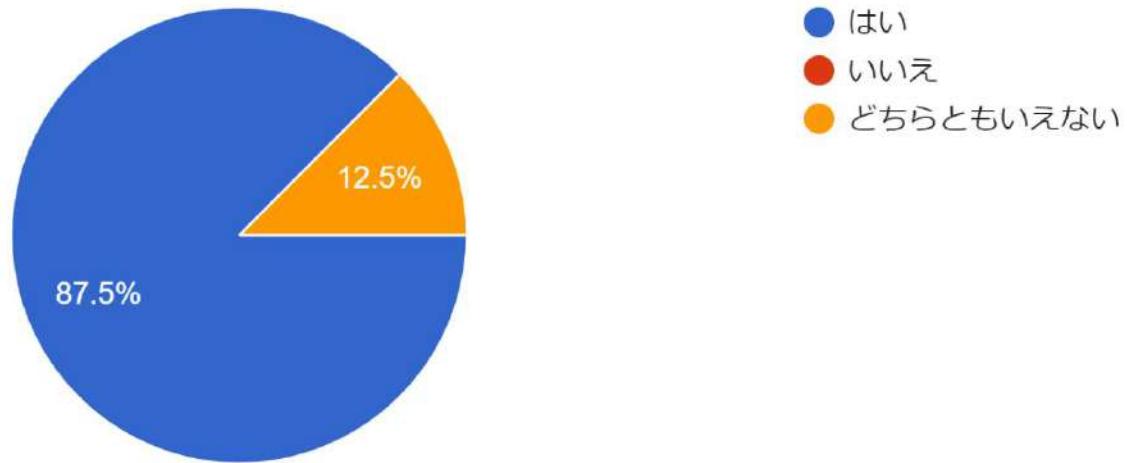
8件の回答



総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

ゼミの内容はあなたの学びたいことのニーズに合ったものでしたか？

8件の回答



総合型選抜ゼミ 運営やプログラム全体のふりかえり

- プログラム内容・企画のふりかえり
 - 大学生がメインゲストで大人はあくまでサポート＆ファシリをする構成がよかつた
 - 大学生の生の声が一番のモチベーションになった
 - 個別具体的な受験対策や受験ストーリーを多様な視点で複数人がインプットすることが大切
 - 総合型選抜入試を受験する生徒同士が交流することで、お互いを高めあえたり同じ種類の目標に向かって取り組むことができた
 - 大人と細かくコミュニケーションをとる時間はとれなかつた
 - どこまでを目指したプログラムにするのかを明確に参加者にも共有する必要がある
 - 学校との接続や引継ぎのやり方を工夫する

- コーディネーターは社会人でなく大学生もアサイン
- 8月までをプログラム期間とする
 - 志望理由書を書き上げるまでの伴走支援
 - 7月の最終発表会終わってから2回は1on1する
- どこまでのスキルセットが身に付くかの期待値調整は事前に参加生徒と必要
 - プログラムの状態目標のすり合わせ
- 学校との引継ぎのやり方の仕組化